

著作権についてのご注意



あなたがレコードやCD、録音物などから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断では使用できません。

(社)私的録音保証金管理協会
TEL. (03) 3261-3444

録音可能なCDについて

録音可能なディスクは音楽用「DIGITAL AUDIO」表示のあるCD-R／CD-RWです。



- CD-Rはライトワنس(録音後の消去ができない)CDです。ファイナライズ(完成)を行なわない限り、曲を追加して録音することはできますが、消去はできません。
- CD-RWはリライタブル(消去することで、また録音ができるようになる)CDです。最後に録音した1曲のみの消去または、ディスク内のデータをすべて消去ができます。

保証書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

品名	カラオケが録音できるCDコピーマルチプレーヤー		
お客様	お名前	ご住所	電話番号 ()
お買上げ日	年 月 日	取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間 (お買上げ日より)	本体 1 年 (但し消耗品は除く)		

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買上げの販売店にお申し付けください。なお、出張修理はおこなっておりません。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ②お買上げ後の取扱場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷。

- ③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障及び損傷。
- ④異常電圧、電気の供給トラブル等に起因する故障及び損傷。
- ⑤用途以外で使用した場合の故障及び損傷。
- ⑥本書のご提示がない場合。
- ⑦本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

輸入元 株式会社とうしょう

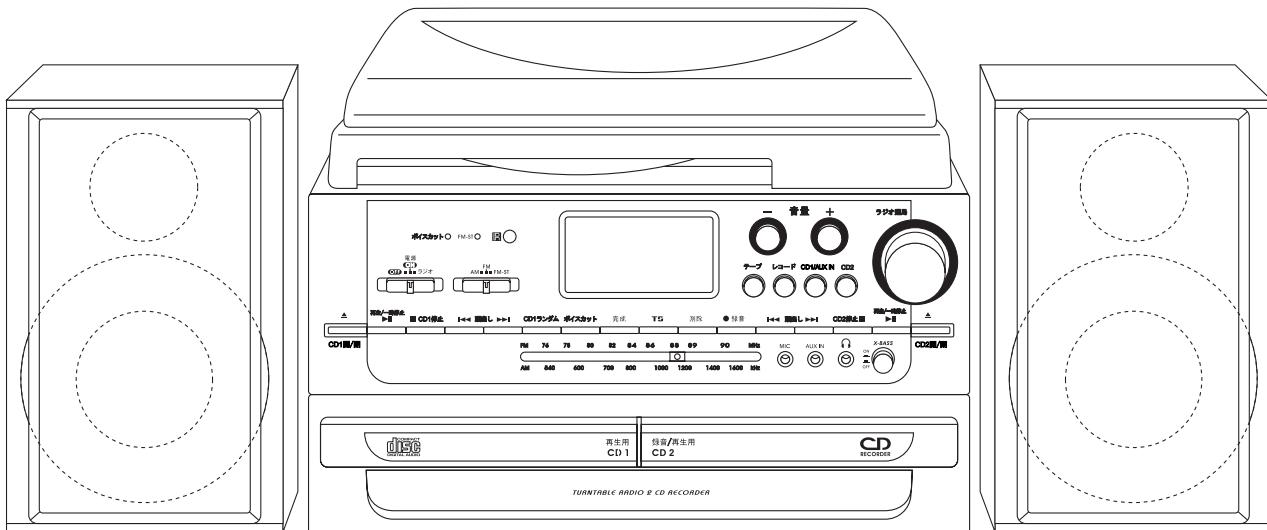
TCDR-922WC

カラオケが録音できる CDコピーマルチプレーヤー

取扱説明書(保証書付)

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。



輸入販売元 (株)とうしょう 埼玉県八潮市大曾根87-3

目 次

仕様	2	レコードからCDへの録音方法	22
安全上のご注意	3	レコードとマイクのミックス音をCDへ録音	24
各部の機能と接続方法	4	カセットテープからCDへの録音方法	26
リモコンの名称と機能	5	カラオケカセットテープからCDへの録音	28
レコードプレーヤーの使い方	6	CDのファイナライズ(完成)	30
ラジオの使い方	8	CD-RWの曲データーの消去	31
カセットプレーヤーの使い方	9	録音用CD-R／CD-RWについて	32
CDプレーヤーの使い方	10	音楽プレーヤーの接続とCDへの録音	33
busy表示時の注意事項	14	日常のお手入れ	34
局番入りボタンの使用	14	レコード針の交換	34
ヘッドホンの使用方法	15	こんなときは／故障かな?と思ったら	35
X-BASSボタンについて	15	著作権についてのご注意	36
CDからCDへの録音方法	16	録音可能なCDについて	36
カラオケマイクの使い方	18	保証書	36
CDでのカラオケをCDへ録音	20		

仕 様

●CDプレーヤー

周波数特性：60Hz～16KHz(±3dB)
CD方式：Audio CD／CD-R／CD-RW

●レコードプレーヤー

モーター：DC方式
駆動方式：ベルトドライブ
回転数：33⅓／45／78rpm
信号雑音率：32dB
針：サファイア

●ラジオ

FM：76.0MHz～90MHz
AM：540KHz～1,600KHz
周波数特性：100Hz～4KHz

●アンプ

消費電力：38W
出力：2W+2W
周波数特性：60Hz～16KHz

●スピーカー

個数：2個
サイズ：100mm／27mm
インピーダンス：4Ω
出力端子：イヤホン 3.5mm
ステレオ(L/R)RCA

●マイクロホン

エコー機能付き
コード長：3m 400g

こんなときは／故障かな?と思ったら

●故障かな?と思ったら、まず以下の項目をご確認ください。

症 状		ここをお確かめください
スピーカー	音が出ない 音が途切れる	●音量は十分ですか? ●ヘッドホンをジャックに差したままになってしまいませんか?
リモコン	リモコンが 使えない	●本体の電源はONになっていますか? ●リモコンと本体の間に障害物はありませんか? ●リモコンと本体との距離が離れすぎていませんか?(約7m以内) ●リモコンの電池は正しい向きに入っていますか? ●リモコンの電池が消耗していませんか?
	再生できない 音が出ない	●CDボタンを押して「CD」を選択しましたか? ●CDのオモテ(印刷面)を上向きに、正しく挿入されていますか? ●CDの再生面が汚れていませんか?やわらかい布などでふいてください。 ●ファイナライズ(完成処理)しましたか?していないとCD1または他のCDプレーヤーで再生できません。
CDレコーダー	録音できない	●音楽用のCD-RまたはCD-RWを使用していますか? ●録音されてない空のCDディスクですか? ディスプレーに「NO TOC」確認。(書き込み可能CDを意味します) ①CDに容量(空き)は残っていますか? ディスプレーに「FULL」表示がでましたら録音はできません。 ②CD盤の種類 640MB・約74分／700MB・約80分の録音が可能。 ※ファイナライズ処理のため、約5分程度の処理容量が必要です。 ③一度ファイナライズ処理をすると追加録音ができません。 追加録音は必ずファイナライズ解除してからおこなってください。 ④お使いのCD盤に「CCCD」コピーコントロール表示がある場合、録音ができない恐れがあります。
レコード プレーヤー	ターンテーブル が回らない 音が出ない	●レコードボタンを押して「レコード」を選択しましたか? ●針の保護カバーカバーを前方上方向に上げてありますか? 確認してください。
カセットテープ	テープが 入らない 回らない	●テープは正しく録音されたものですか? ●テープボタンを押して「テープ」を選択しましたか? ●テープを挿入するとき、上下、左右、正しい向きになっていますか?
ラジオ	音が出ない	●電源／スライドスイッチで「ラジオ」を選択しましたか? となりのスライドスイッチで「AM・FM・FM-ST」を選択し、お聴きになりたい放送局をご確認ください。 ●お聴きになりたい番組の周波数は合っていますか?
	雑音が入る	●受信しやすい方向にアンテナを動かして、調整してください。 (FM受信時) ●本機の設置場所、設置方向を変えてください。(AM受信時)

日常のお手入れ

！注意

●高温多湿の場所に設置しないでください

正常な機能を維持し、末永くお使いいただくために、お風呂場の近くやストーブ、直射日光の当たる場所など、高温や多湿の場所ではお使いにならないでください。変形したり、故障の原因となることがあります。

●汚れを取るときは

汚れをとる場合は、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水に浸した布を固く絞ってから拭き取ってください。このとき、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。

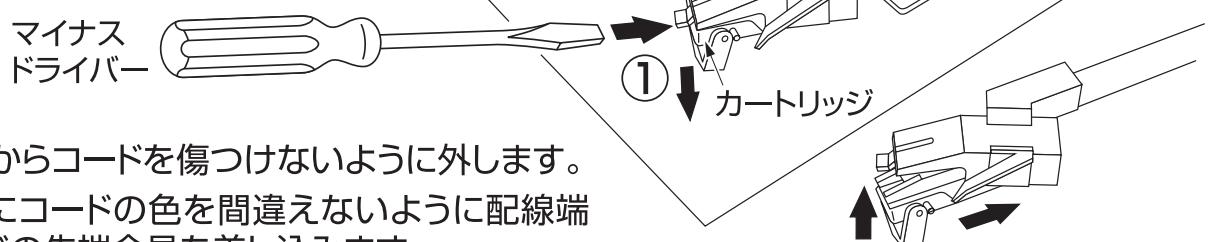
研磨剤や強力な洗剤は、本体の仕上げを傷つけることがありますので、絶対に使用しないでください。また、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。変質したり、曇ったりすることがあります。

レコード針の交換



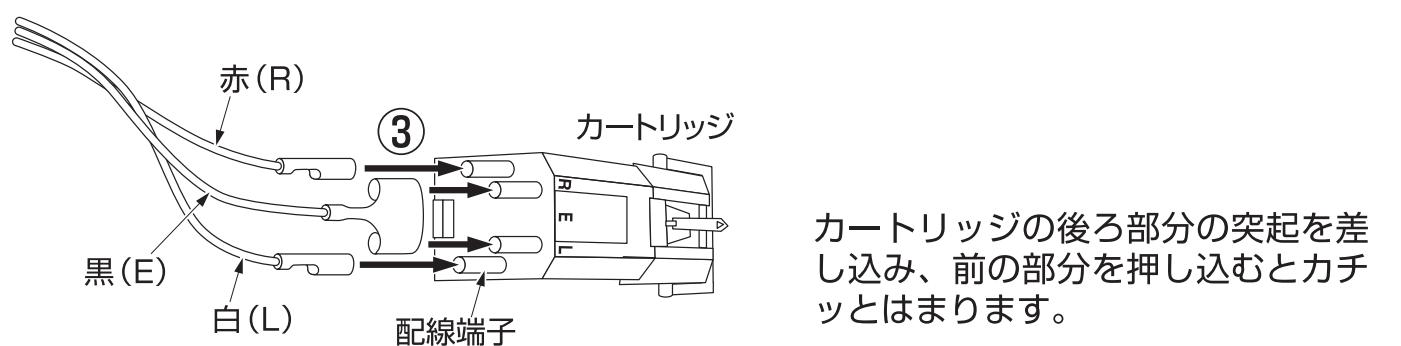
- レコード針は、精密に作られていますので、取り扱いは十分注意してください。
- 針先の耐久時間は、約100時間です。それ以上使い続けると、大切なレコード盤を傷つけるおそれがありますので、ご注意ください。

- ①マイナスドライバーなどをカートリッジ（針の部分）の上のすき間に差し込み、軽く引き下げる外れます。



- ②配線端子からコードを傷つけないように外します。

- ③図のようにコードの色を間違えないように配線端子にコードの先端金具を差し込みます。



安全上のご注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（注意・警告・危険を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

！警告

- ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- 本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。



- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- 本器の側面、裏側カバーをはずしたり、本器を改造したりしないでください。
また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



- 万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。



- 万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。（特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。）



！注意

- 本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。



- 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



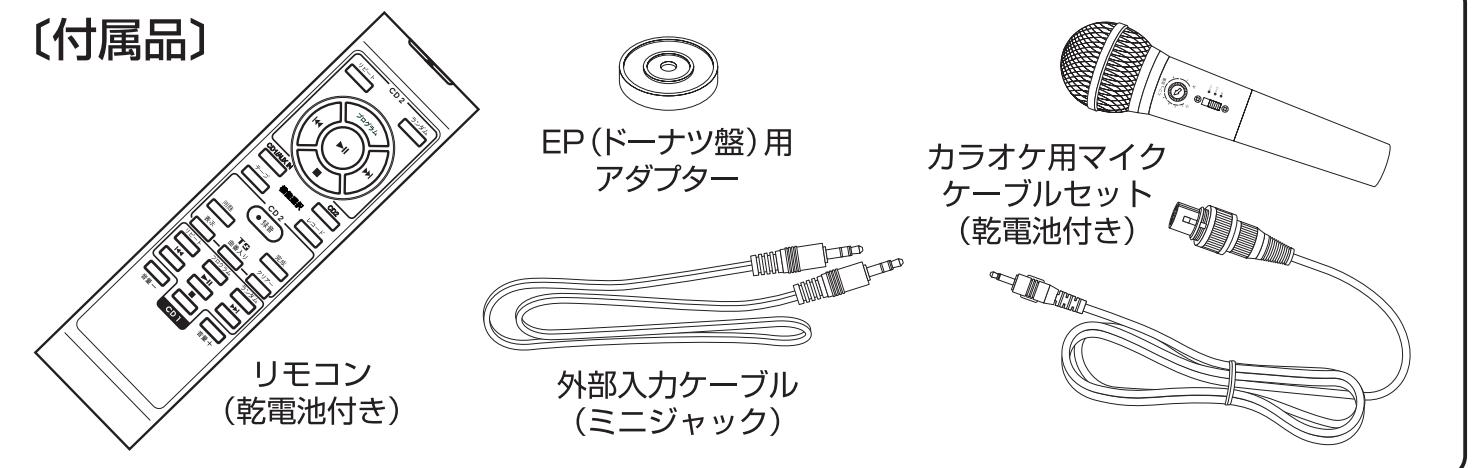
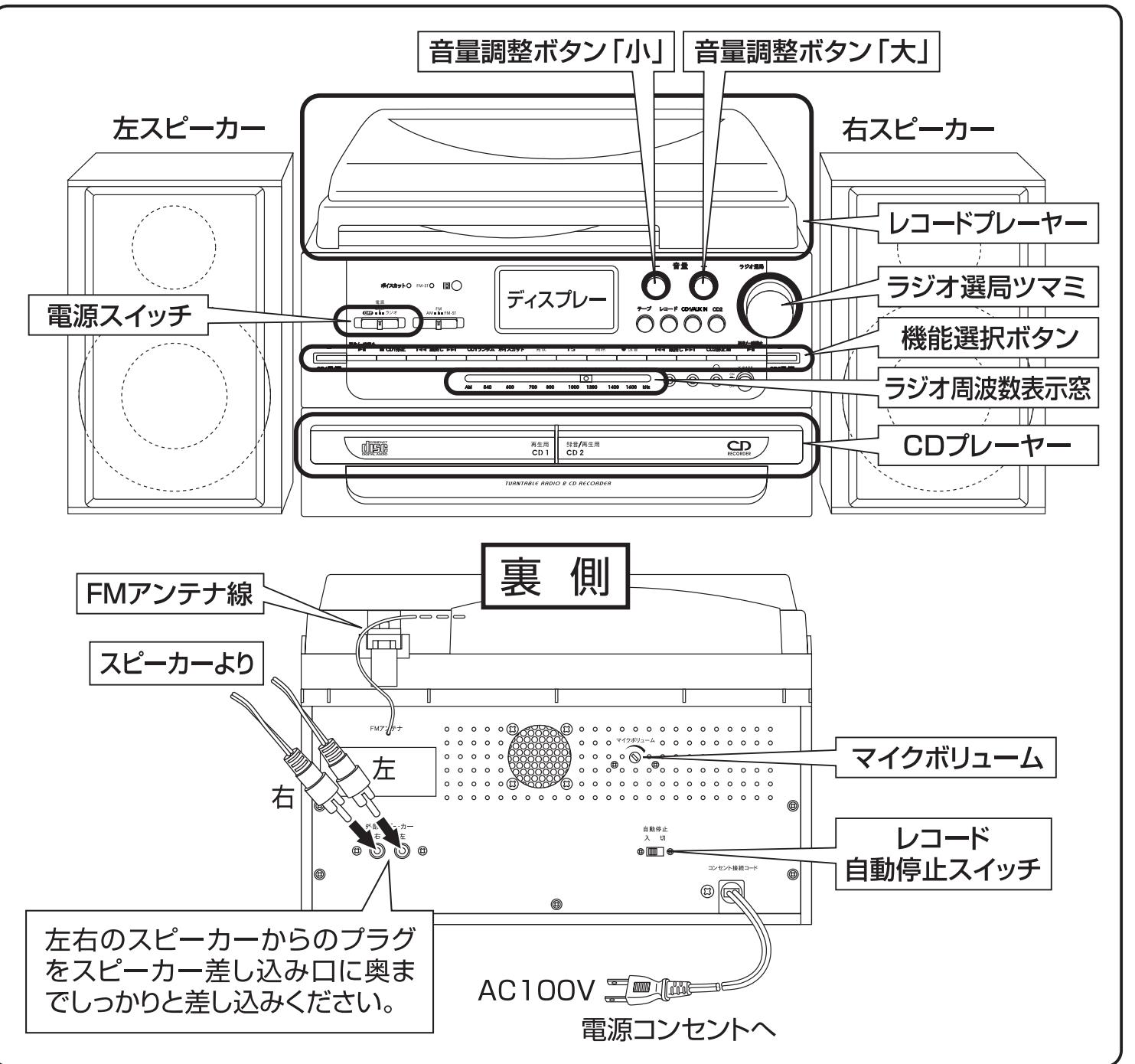
- 直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



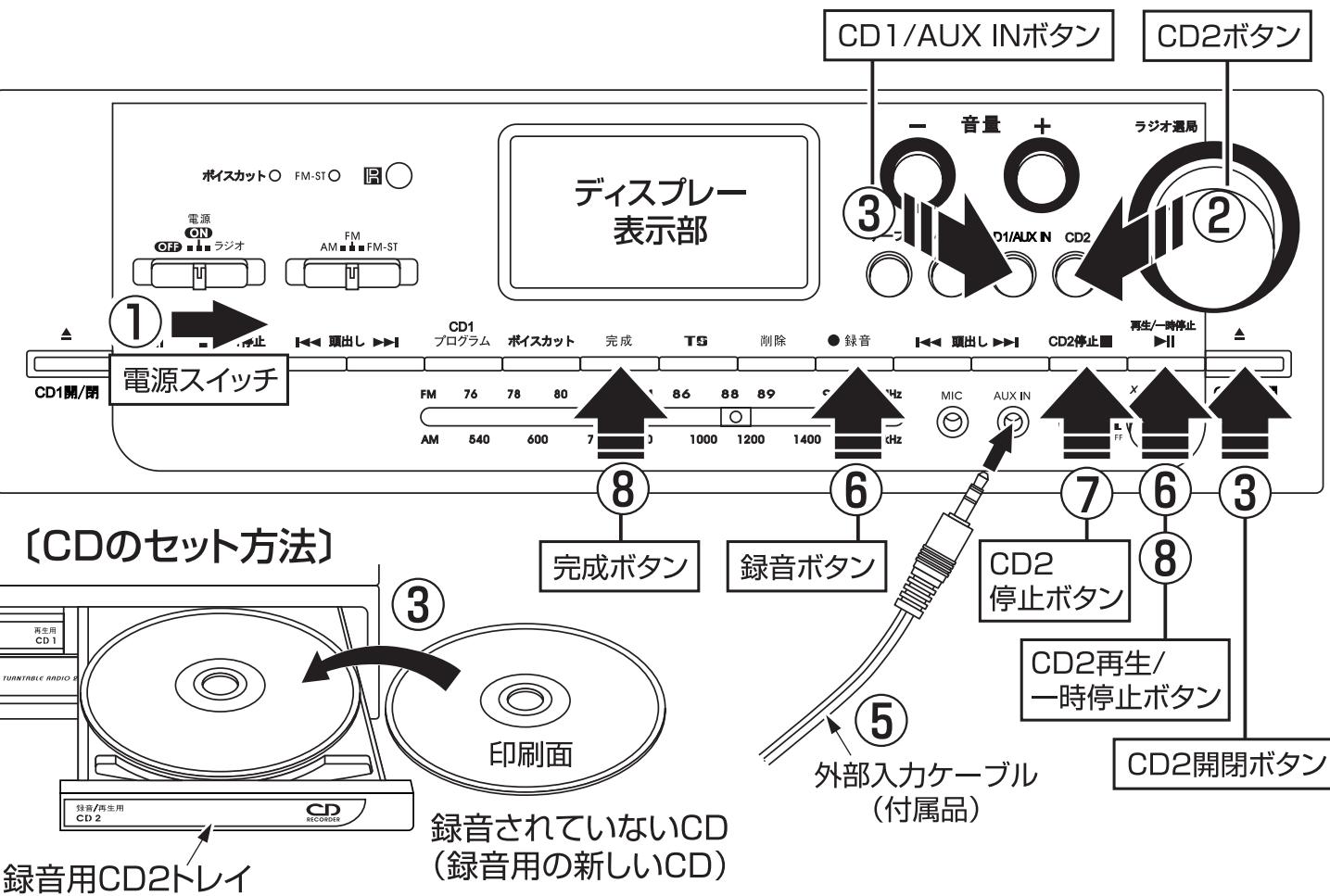
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



各部の機能と接続方法



音楽プレーヤーの接続とCDへの録音



- ①前面パネルの「電源」スイッチをON側にスライドさせ電源スイッチを入れます。ラジオ選局ツマミ／音量調整ボタンが「ブルー」に点灯します。
- ②「CD2ボタン」を押して選択します。ディスプレーに「busy」表示が出ますので消えるのを待ってから次のボタンを押してください。
- ③「CD2開／閉ボタン」を押し、トレイを開け、CDの印刷面を上にして録音されていない新しいCDをセットし、「開／閉ボタン」を押してトレイを閉めます。
- ④「CD1/AUX INボタン」を押して選択します。
- ⑤音楽プレーヤーのヘッドホン端子に付属のステレオ接続ケーブルを差し込み、もう一方を本体の前面パネルにある「AUX IN」端子に差し込みます。
- ⑥「録音ボタン」を押します。次に「CD2再生／一時停止ボタン」を押し、音楽プレーヤーの音楽を再生すると録音が始まり、スピーカーから録音中の音が流れます。
- ⑦録音が終わりましたら、「CD2停止ボタン」を押してください。ディスプレーに録音された時間が表示されます。
- ⑧これではまだ録音ができていませんので、ファイナライズ作業をしてください。「完成ボタン」を押し、続いて「CD2再生／一時停止ボタン」を押します。約2～3分ほどで録音が完成され、CD2のトレイが自動で開きます。(P.30のファイナライズ作業を参照してください。)

注意 音楽プレーヤーのヘッドホン端子からの録音にはご注意ください。機種により出力が大きかったり、音楽プレーヤーのボリュームの大きさなどにより音楽プレーヤーや本機の故障の原因になることがあります。

録音用CD-R/CD-RWについて



注意 録音に使用できるディスクは、音楽録音用のCD-RとCD-RWです。CD-Rに書き込んだデータは消すことはできません。CD-RWは記録したり消したりすることができます。

CD-R、CD-RWディスクはメーカーまたは、CDディスクにより録音できない場合があります。特にテープ／レコード（アナログ製品）からの録音の場合、CD記録ソフトの特性などにより録音・再生できないことがあります。

CD-Rについて

- 録音後は音楽データを消すことはできません。
- 完成処理（ファイナライズ処理）の前であれば、追加録音することができます。

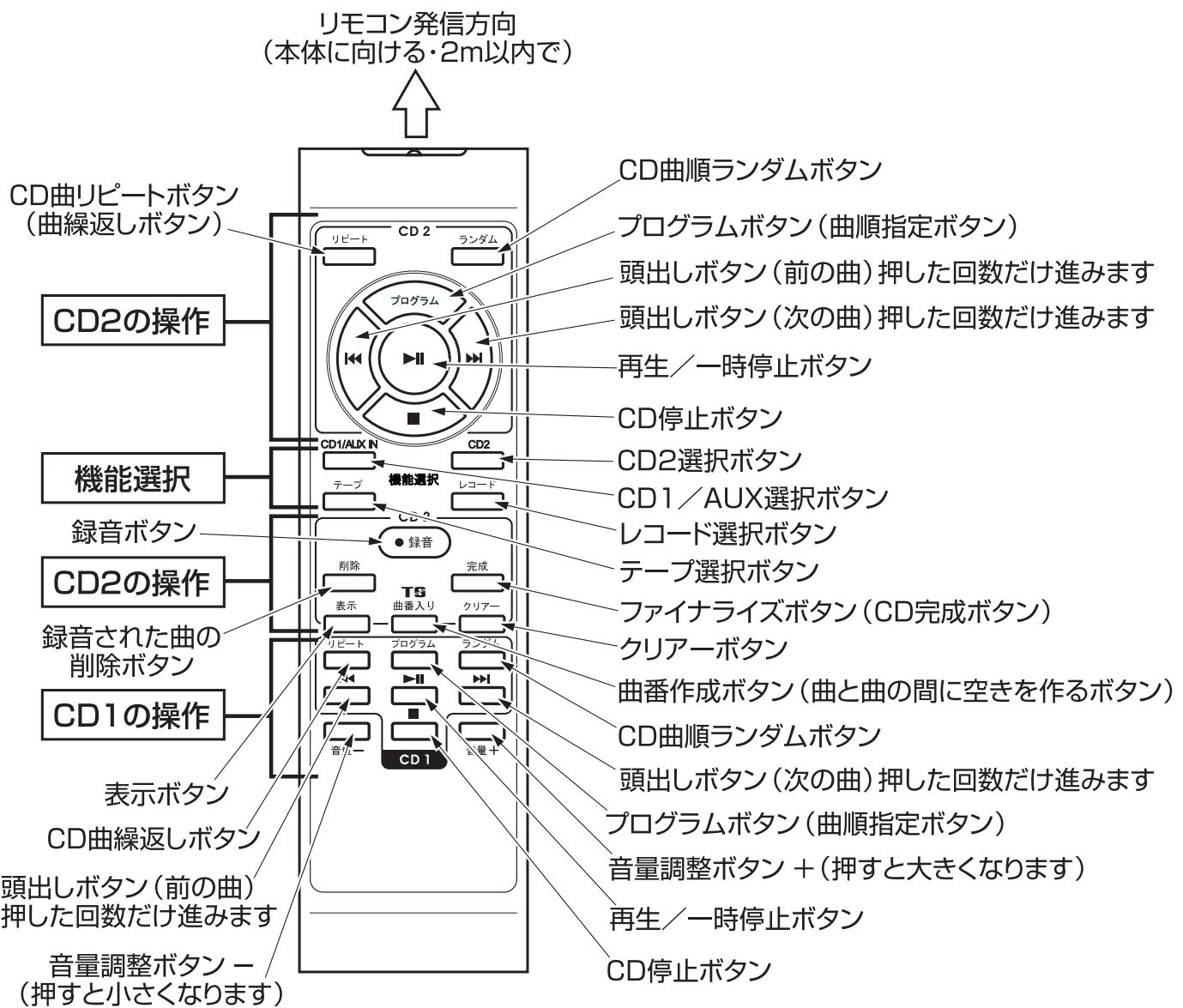
CD-RWについて

- 録音後、削除ボタンにて最後に録音された曲から順番に1曲づつ消すことができます。また全ての曲を一度に消すこともできます。
- 完成処理（ファイナライズ処理）の後に曲を消す場合は、削除ボタンにて全ての曲を消してください。（詳細はP.31のCD-RWの曲データの消去を参照してください。）



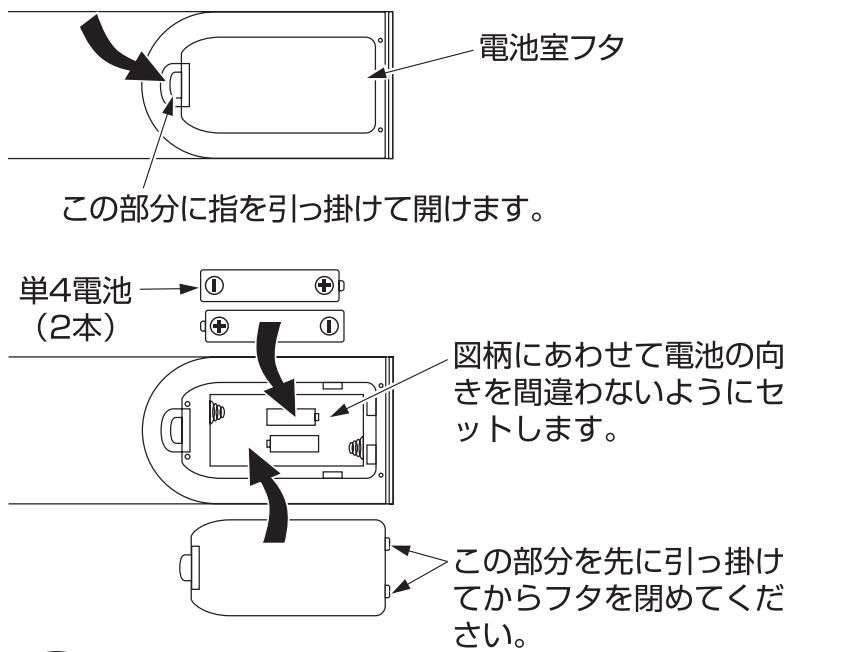
- ※市販のCDプレーヤー（特に古い機種）によってはCD-RW再生機能が無いものがありますので、再生することができません。
- ※CD-Rは一度録音しますと消すことができませんので、失敗が心配な場合はCD-RWを練習用としておすすめします。

リモコンの名称と機能



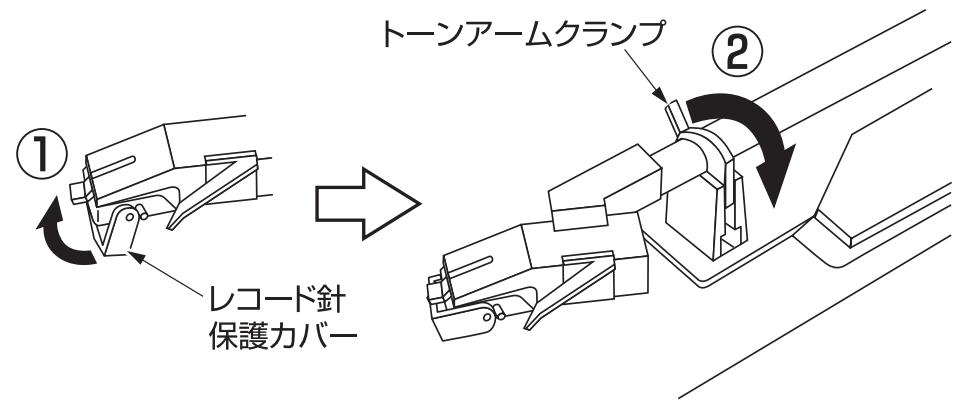
●電池の交換方法（入れかた）

- 2本の電池（単4電池）を入れ、フタを閉めてください。リモコンの操作がしにくくなったら、新しい電池に交換してください。
+と-の向きを正しく入れてください。
- 使用範囲は2m以内です。
- リモコンは本体に向かって操作してください。

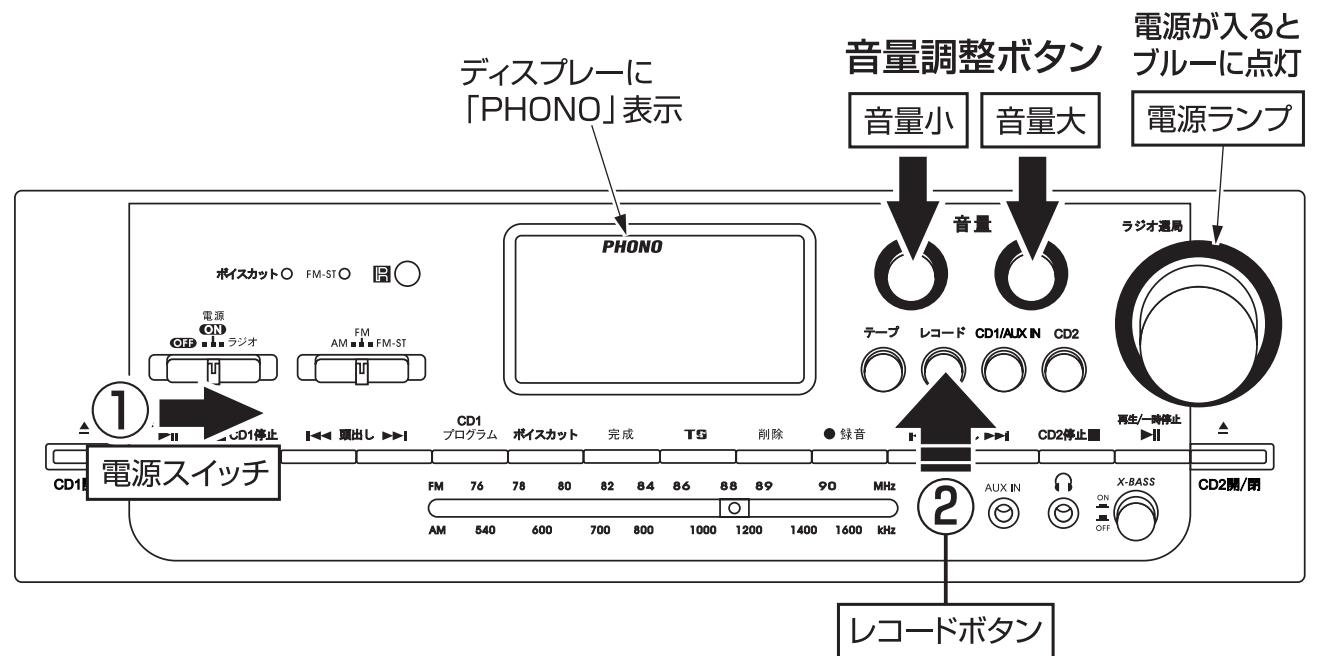


レコードプレーヤーの使い方

●ストッパーと針保護カバーを外します。



- ① レコード針保護カバーを下側から前側に起こします。
- ② トーンアームクランプを外してください。



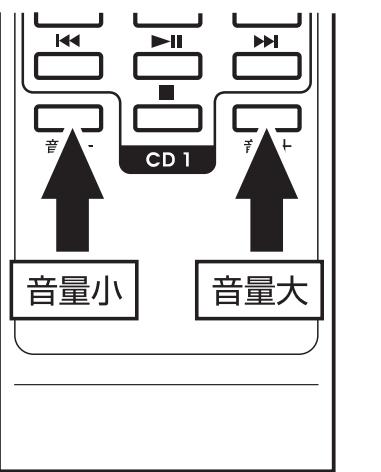
①前面パネルの「電源」スイッチをON側にスライドさせ電源スイッチを入れます。ラジオ選局ツマミ／音量調整ボタンが「ブルー」に点灯します。

②「レコード」ボタンを押して選択します。ディスプレーに「PHONO」が表示されます。

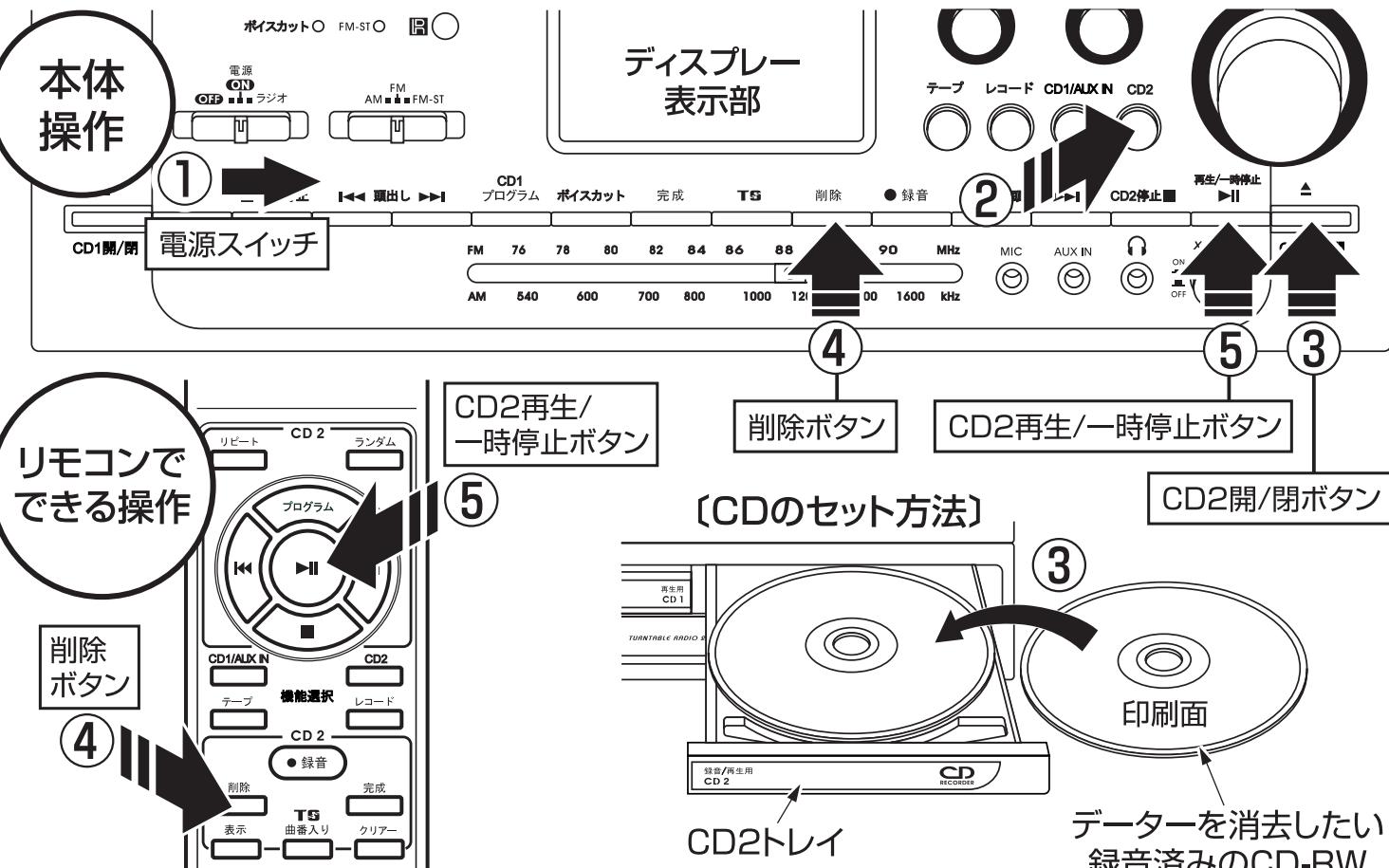
●音量調整ボタンについて

音量は「音量調整ボタン」を押して、調整してください。「+」側を押すと大きくなり、「-」側を押すと小さくなりますのでお好みの音量でお聴きください。ボタンを押し続けると「+側=だんだん大きく」「-側=だんだん小さく」になります。また、一度電源を切ると「音量は最小」に戻りますので音量を再度お好みの音量に調整してお聴きください。

*液晶パネルにはボリュームのメモリ表示はされません。



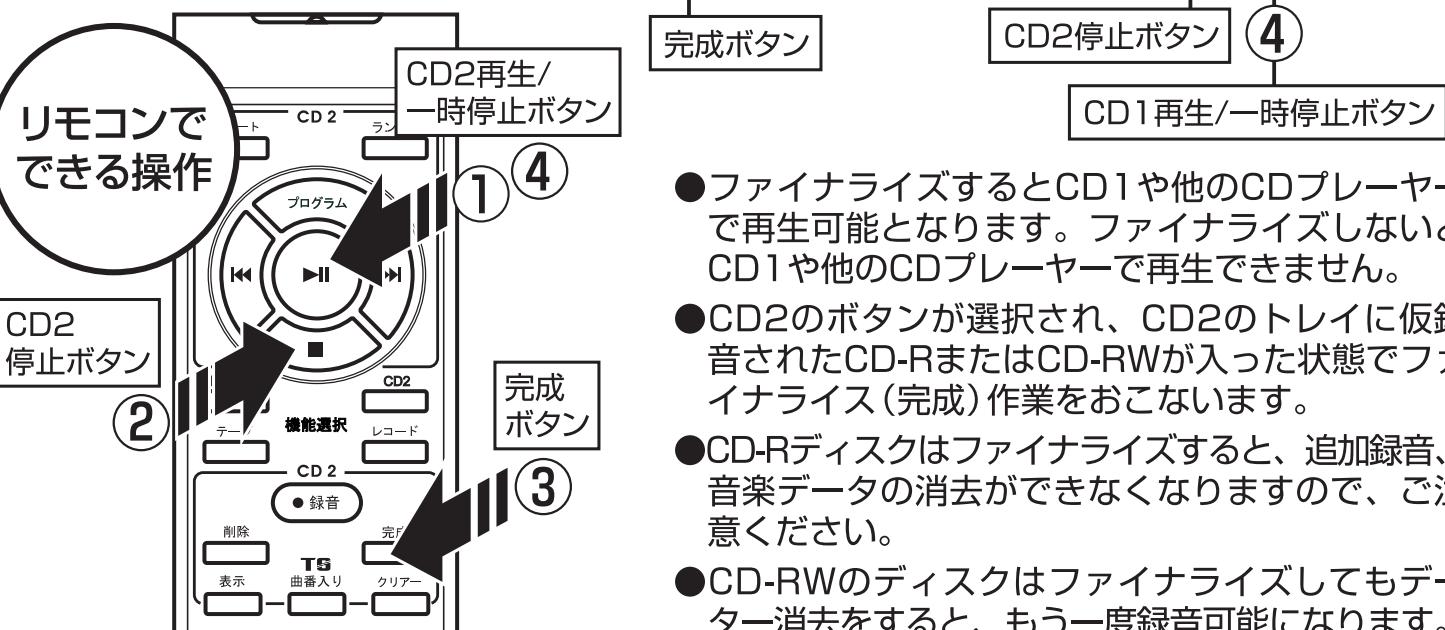
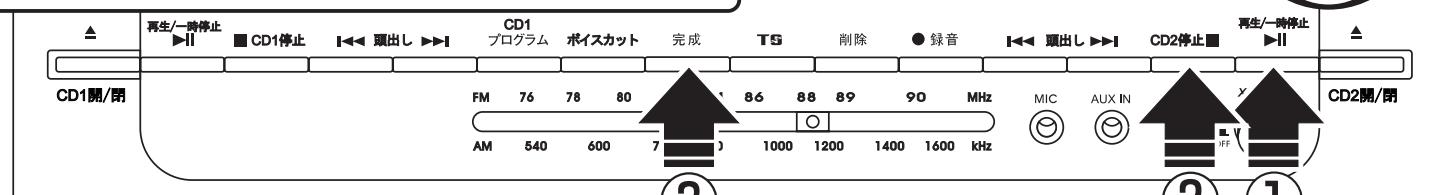
CD-RWの曲データーの消去



操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
1 電源スイッチをONにして電源を入れます	PLS SELECT FUNCTION	ラジオ選局ツマミ／音量調整ボタンが「ブルー」に点灯
2 CD2ボタンを押し選択します	... bus 4	ディスプレーに「busy」表示 「busy」表示が消えるまで(約30秒) 次のボタンを押さないでください
3 CD2の開/閉ボタンを押しCD2に録音済CDを入れます	CD-RW CD2 NO TOC 01 663:20	ディスプレーに「CD-RW」表示 曲数、録音時間表示
4 削除ボタンを押します	CD-RW CD2 NO TOC EP 01	左の画面は1曲だけ削除です 録音された最後の曲が削除されます もう一度押すと次の画面になります
	CD-RW CD2 NO TOC EP ALL	左の画面は すべてのデーターの削除になります
5 CD2再生/一時停止ボタンを押します	... bus 4	消去が開始されます 消去には2~3分ほどかかります
6 消去完了	CD-RW CD2 NO TOC 000 00:00	画面に「00:00」が表示されます 消去完了です

CDのファイナライズ(完成)作業

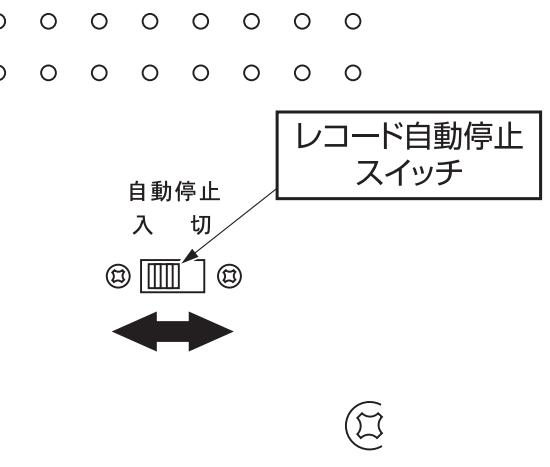
※CD2で完成処理したCD-Rは本機のCD1または、他のCDプレーヤーで聴くことができます。CD-RWも本機のCD1で聴くことができますが、他のCDプレーヤーの古い機種でCD-RWの再生機能がないと聴くことができません。



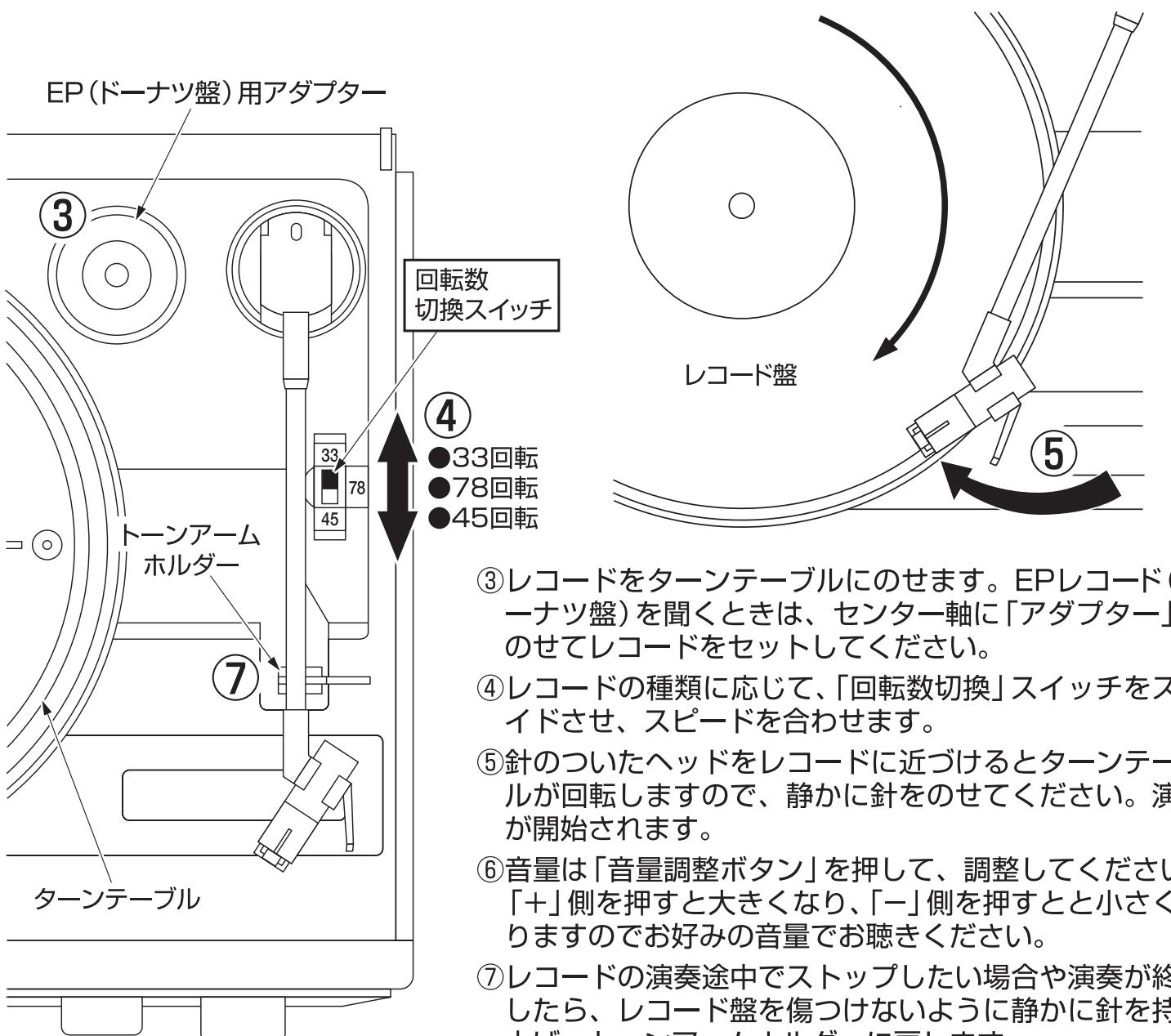
- ファイナライズするとCD1や他のCDプレーヤーで再生可能となります。ファイナライズしないとCD1や他のCDプレーヤーで再生できません。
- CD2のボタンが選択され、CD2のトレイに仮録音されたCD-RまたはCD-RWが入った状態でファイナライズ(完成)作業をおこないます。
- CD-Rディスクはファイナライズすると、追加録音、音楽データの消去ができなくなりますので、ご注意ください。
- CD-RWのディスクはファイナライズしてもデータ消去をすると、もう一度録音可能になります。

操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
① CD2再生/一時停止ボタンを押します	▶ NO TOC CD-RW CD2 00:00 04:34	仮録音された曲を再生できるかテストに聴いてください
② CD2停止ボタンを押します	NO TOC CD-RW CD2 00:00 63:20	再生が確認できましたらファイナライズ処理をおこないます
③ 完成ボタンを押します	F IN-d	ディスプレーに「FIN-d」表示
④ CD2再生/一時停止ボタンを押します	--- BUSY	ファイナライズ(完成)作業中2~3分かかります
⑤ 自動的にトレイが開きます	OPEN	CD完成です

●レコード自動停止スイッチの使い方

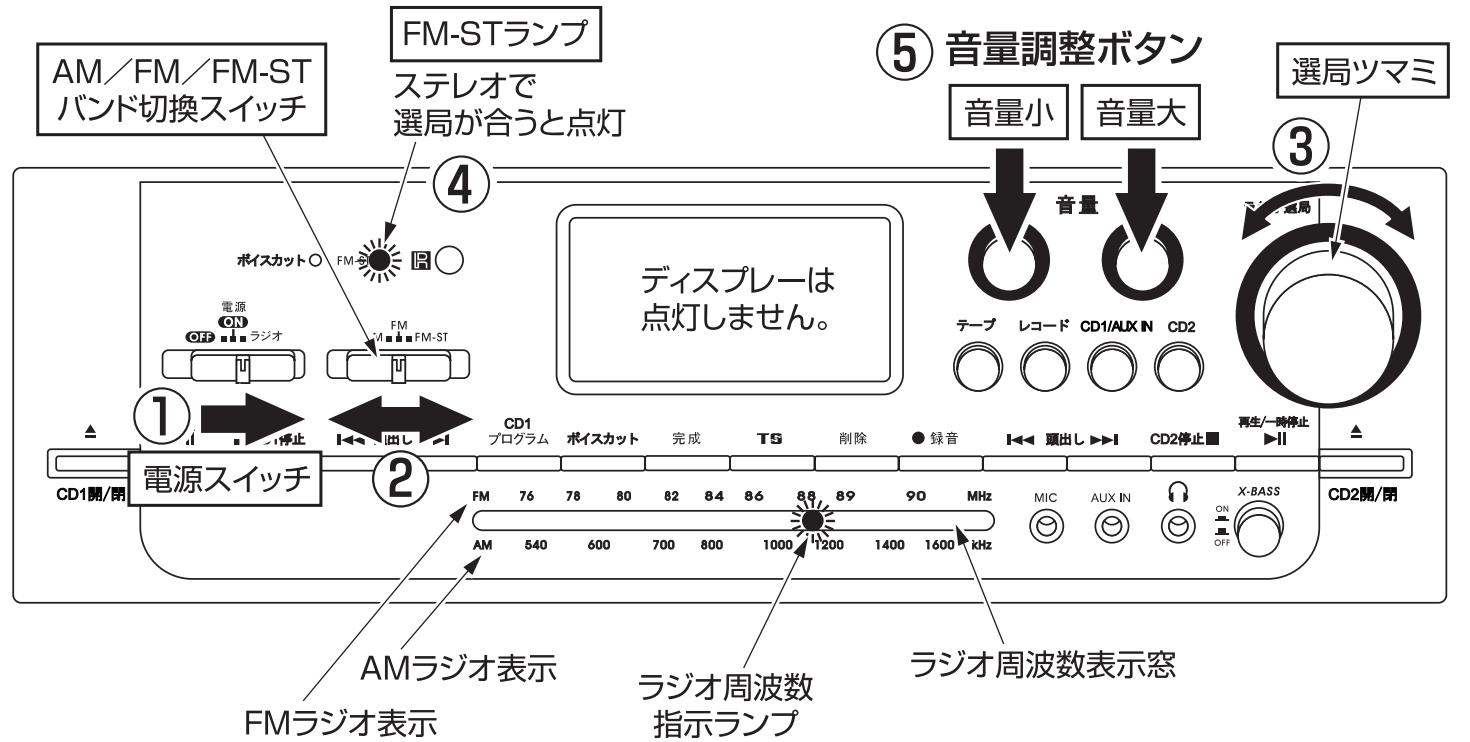


通常の使用には、本体後側にあるレコード自動停止スイッチを「入」側にしてください。演奏が終わるとターンテーブルは自動に止まります。しかし、EP(ドーナツ盤)や、SP盤を聴くときは、レコード盤の種類により、途中でレコードが止まることがありますので、レコード自動停止スイッチは「OFF」側でご使用ください。



- ③ レコードをターンテーブルにのせます。EPレコード(ドーナツ盤)を聞くときは、センター軸に「アダプター」をのせてレコードをセットしてください。
- ④ レコードの種類に応じて、「回転数切換」スイッチをスライドさせ、スピードを合わせます。
- ⑤ 針のついたヘッドをレコードに近づけるとターンテーブルが回転しますので、静かに針をのせてください。演奏が開始されます。
- ⑥ 音量は「音量調整ボタン」を押して、調整してください。「+」側を押すと大きくなり、「-」側を押すと小さくなりますのでお好みの音量でお聴きください。
- ⑦ レコードの演奏途中でストップしたい場合や演奏が終したら、レコード盤を傷つけないように静かに針を持ち上げ、トーンアームホルダーに戻します。

ラジオの使い方



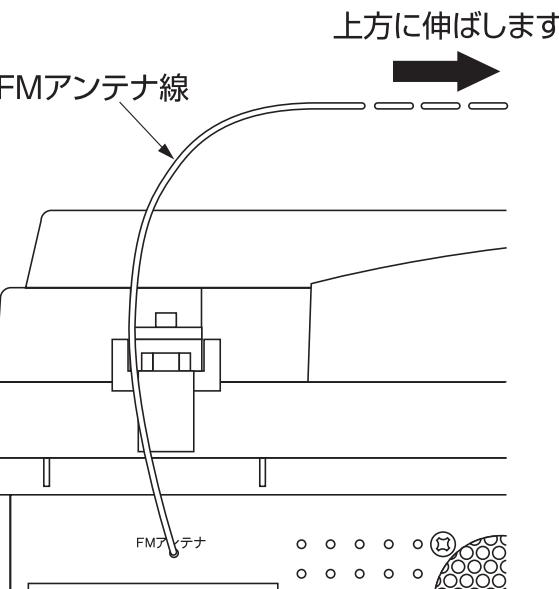
- ①前面パネルの「電源」スイッチを「ラジオ」側にして電源を入れます。選局ツマミ／音量調整ボタンが「ブルー」に点灯します。
- ②「AM／FM／FM-ST」バンド切換スイッチでお聴きになりたいバンド「AMまたはFM (FM-STはFMステレオ)」に合わせます。
- ③「選局ツマミ」を回して、お聴きになりたいラジオ局(周波数)に合わせます。
- ④FMステレオ放送を聞く場合は「FM-ST(ステレオ)」にしてください。選曲されるとFMステレオ表示ランプが点灯します。FM電波が弱く、雑音が発生した場合はモノラル側を選択すると、雑音が改善される場合があります。モノラル側ではFMステレオ表示ランプは点灯しません。
- ⑤「音量調整ボタン」を押して、調整してください。「+」側を押すと大きくなり、「-」側を押すと小さくなりますので好みの音量でお聴きください。

●外部FMアンテナの取付け

「FMアンテナ線」は、なるべく高いところに長く伸ばして取付けてください。
電波の状態、本機の設置場所によって位置を調整してください。

●AM放送を聴く時の注意

AMの電波は高い建物の影や鉄筋コンクリートのマンション内など、電波を受信しにくい場所があります。
本機の置き場所や向きを変え、電波を受信しやすい状態にしてお使いください。

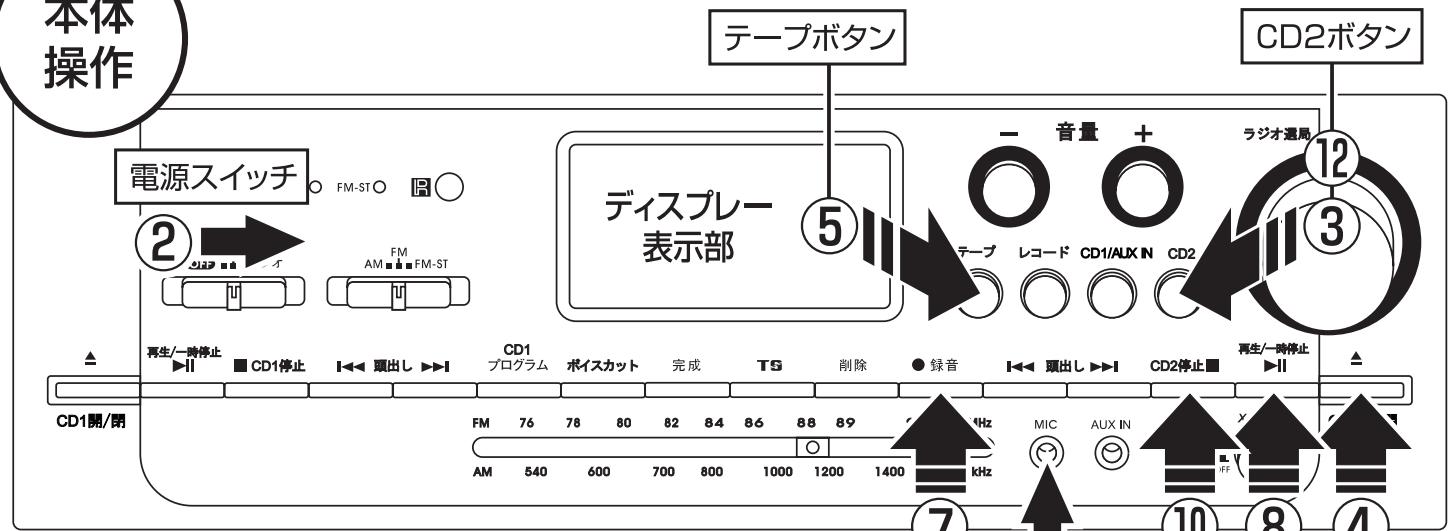


操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
①マイクを「MIC」差し込み口に奥までしっかりと差し込みます		マイクのスイッチは「切」にしておいてください
②電源スイッチをONにして電源を入れます	PLS SELECT FUNCTION	ラジオ選局ツマミ／音量調整ボタンが「ブルー」に点灯
③CD2ボタンを押し選択します	--- busy	ディスプレーに「busy」表示 「busy」表示が消えるまで(約30秒) 次のボタンを押さないでください
④CD2の開/閉ボタンを押しCD2に録音用CDを入れます	CD-RW CD2 NO TOC 000 00:00	ディスプレーに「CD2」表示 NO TOC表示(録音可能なCDの意味)
⑤テープボタンを押し選択します	TAPE CD-RW	ディスプレーに「TAPE」表示
⑥マイク切換スイッチを「エコー」に合わせます	TAPE NO TOC CD-RW	歌う準備をします
⑦●録音ボタンを押します	▶ TAPE CD-RW REC NO TOC TR 001 00:02	ディスプレーの秒数スタート 録音開始
⑧CD2再生/一時停止ボタンを押します	▶ TAPE CD-RW REC NO TOC TR 001 00:02	スピーカーより カラオケテープの音が流れます
⑨テープ挿入口にカラオケテープを入れます 自動再生開始	▶ TAPE CD-RW REC NO TOC TR 001 03:20	カラオケテープに合わせて歌います (エコー音量を調整)
⑩歌い終ったらCD2■停止ボタンを押します	TAPE NO TOC CD-RW	仮録音完了
⑪テープ停止ボタンを強く押し テープを取り出します	TAPE NO TOC CD-RW	CDが一時停止状態です
⑫CD2ボタンを押し選択します	CD2 NO TOC CD-RW 001 04:34	曲数、録音時間を表示
⑬CD2再生/一時停止ボタンを押します CD2■停止ボタンを押します	▶ CD2 NO TOC TR CD2 001 0 20	仮録音された曲を再生できるか テストに聴いてください
⑭続けてカラオケ録音をする時は ⑥から繰り返してください	CD2 NO TOC TR CD2 001 04:34	曲数、録音時間を表示 まだ完全には録音されていません
⑮CDを完成させる場合は ファイナライズ作業をおこなってください	CD2 NO TOC TR CD2 01 663:20	ファイナライズ(CDの完成) P.30を参照

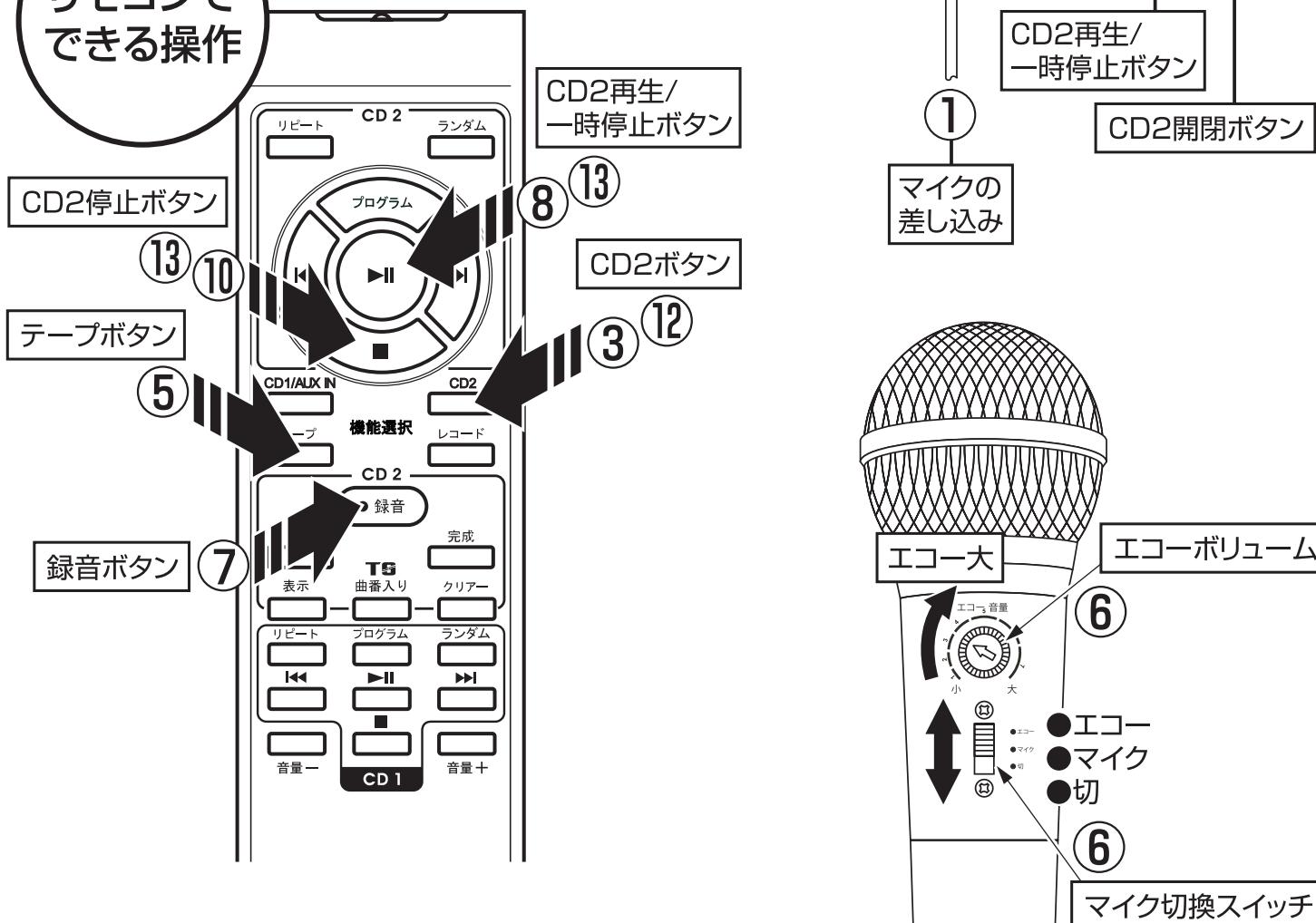
カラオケカセットテープからCDへ録音

※録音するメディア(CD)は本機の使用に慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

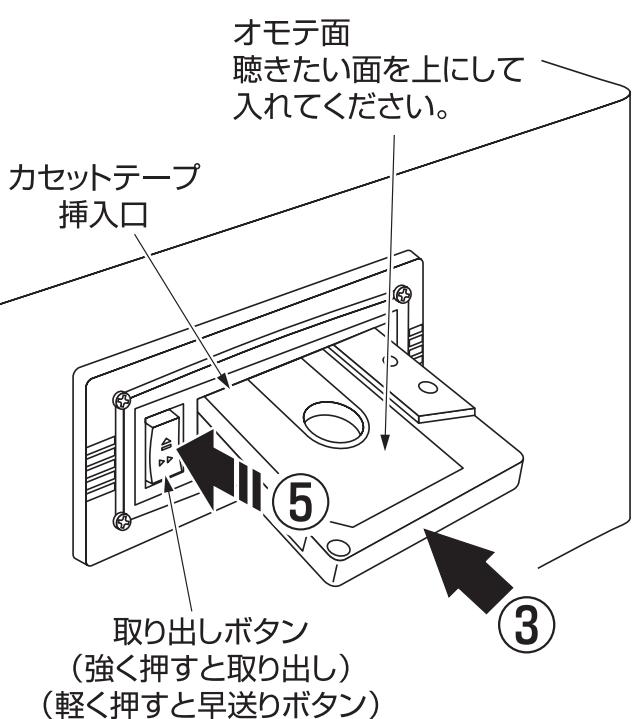
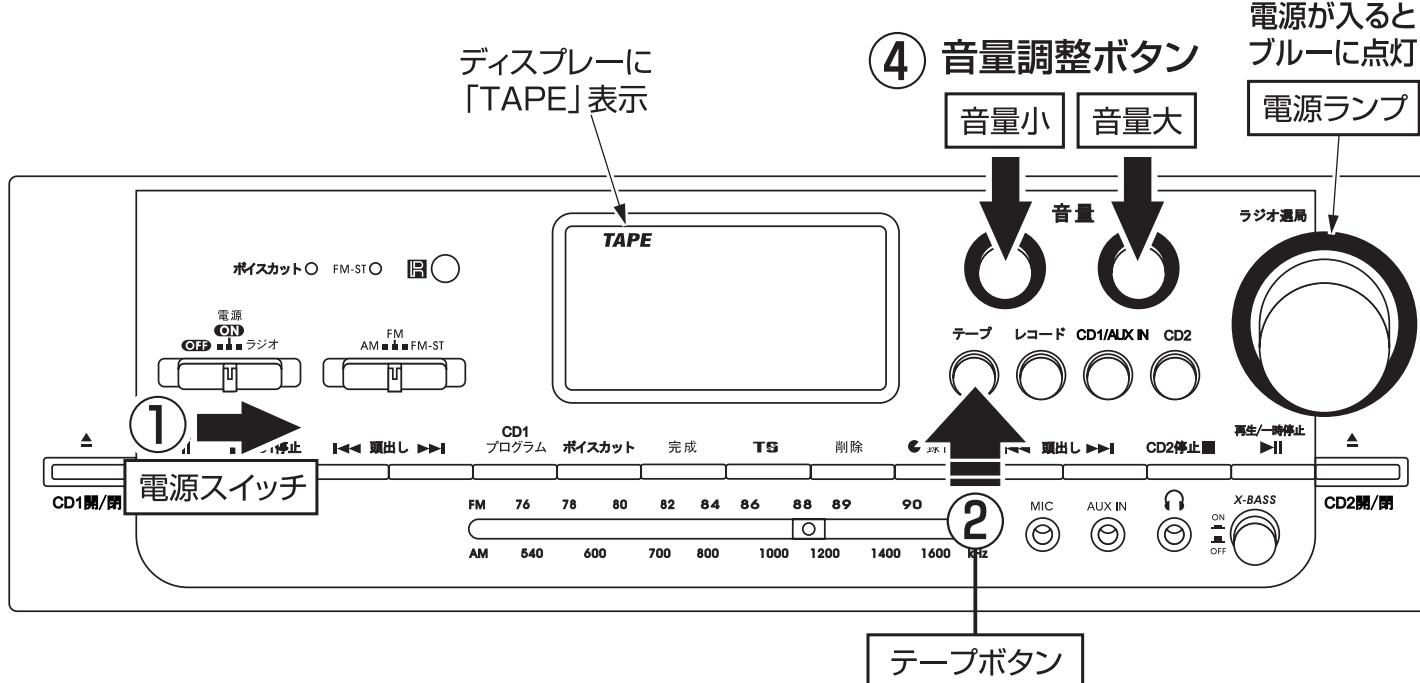
本体操作



リモコンで
できる操作



カセットプレーヤーの使い方(再生専用)



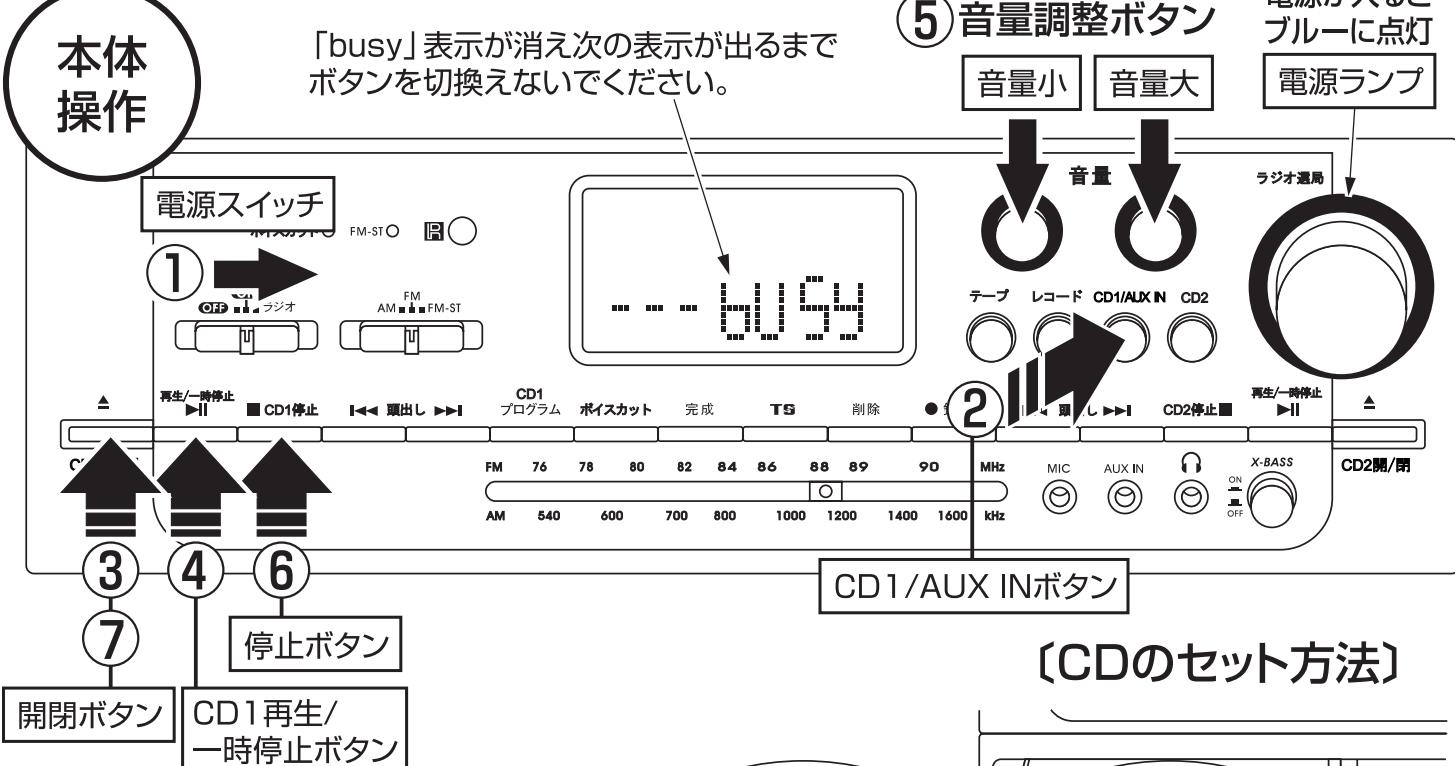
- ①前面パネルの「電源」スイッチをON側にスライドさせ電源スイッチを入れます。ラジオ選局ツマミ／音量調整ボタンが「ブルー」に点灯します。
- ②「テープ」ボタンを押して選択します。ディスプレーに「TAPE」が表示されます。
- ③「カセットテープ挿入口」へ、聴きたい面を上にして図のように押し入れます。自動的に音楽を再生します。
- ④音量は「音量調整ボタン」を押して、調整してください。「+」側を押すと大きくなり、「-」側を押すと小さくなりますのでお好みの音量でお聴きください。
- ⑤入口の左側にある「取り出しボタン」を押すとテープが早送りされます。テープを取り出すときは、さらに強く押すとテープが取り出せます。

注 意

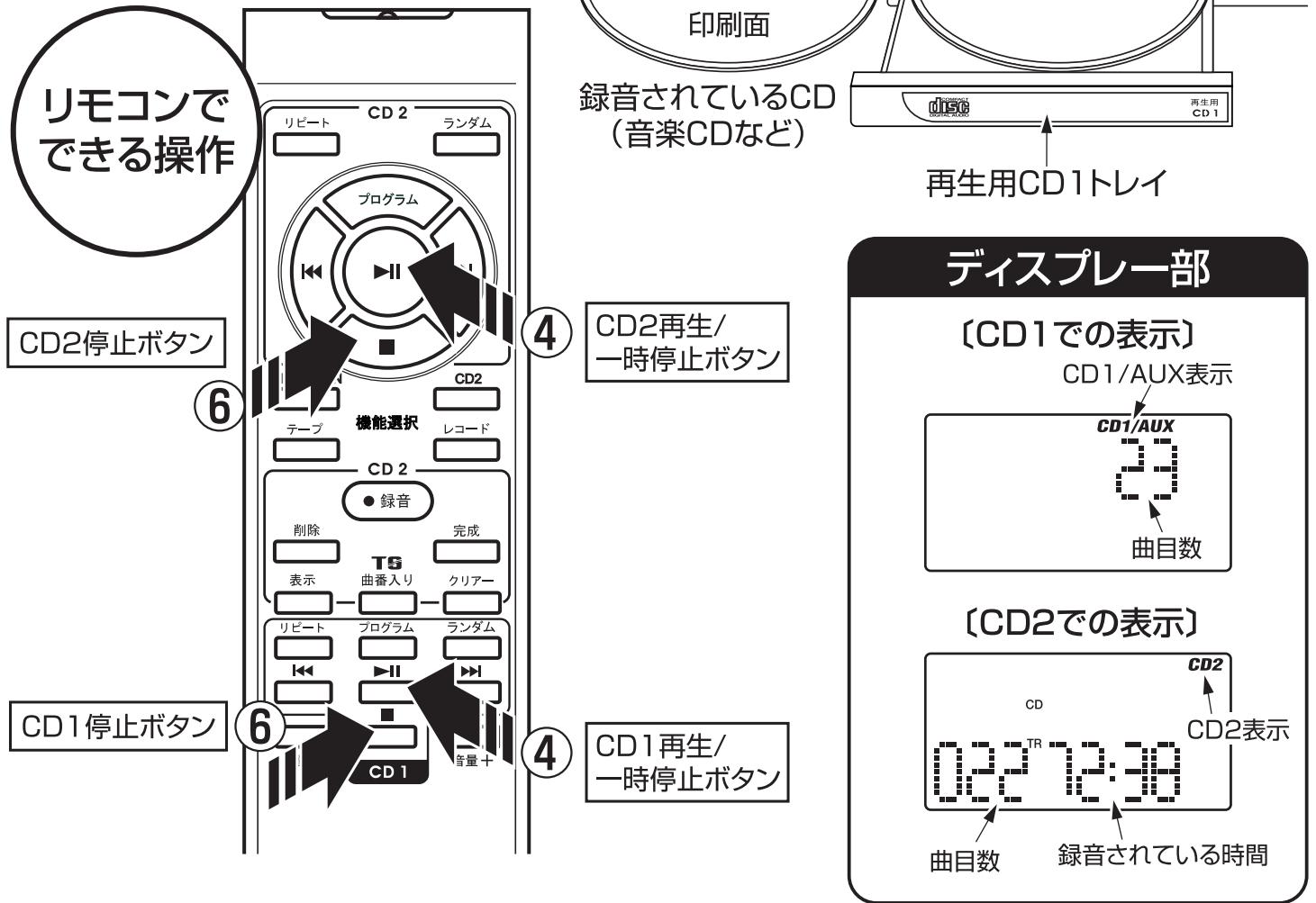
- 機器に入れる前に、テープをチェックしてください。ゆるんでいるとトラブルの元になりますので、片方の穴に鉛筆などを入れ、方向にしたがって軽く巻いて、ゆるみをなくしてから使用してください。
- 60分以上の長時間テープはご使用にならないでください。長時間テープはテープが薄いため機械に絡まりやすく、故障を引き起すおそれがあります。
- ご自分で録音されたテープ、または年数が経っているものは録音・保存状態によって再生、録音動作が上手くいかない場合があります。その場合は他のテープで再度試してください。

CDプレーヤーの使い方(再生)

本体操作



リモコンでできる操作



ディスプレー部

[CD1での表示]
CD1/AUX表示
曲目数

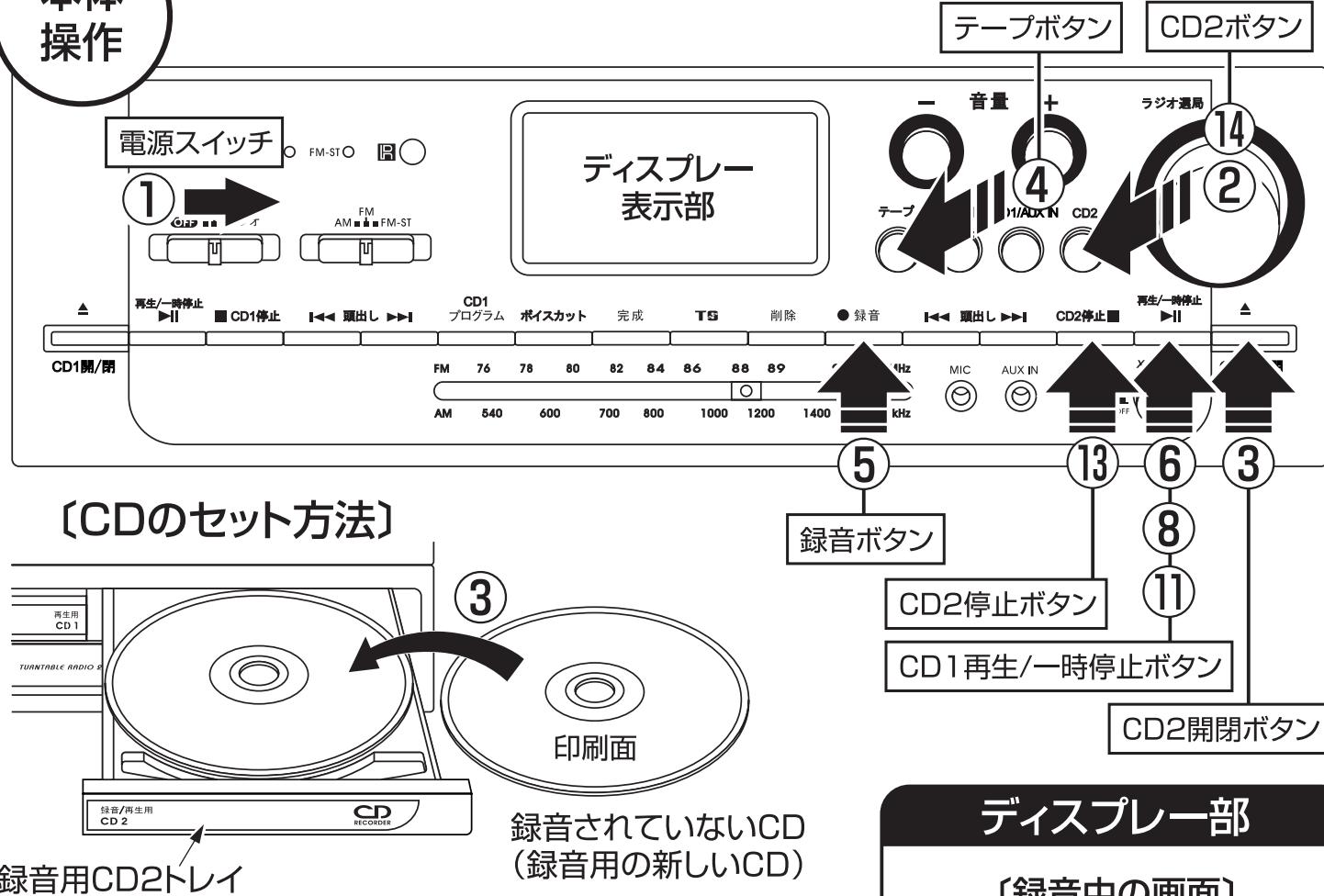
[CD2での表示]
CD2表示
曲目数
録音されている時間

操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
① 電源スイッチをONにして電源を入れます	PLS SELECT FUNCTION	ラジオ選局ツマミ／音量調整ボタンが「ブルー」に点灯
② CD2ボタンを押し選択します	--- busy	ディスプレーに「busy」表示 「busy」表示が消えるまで(約30秒) 次のボタンを押さないでください
③ CD2の開/閉ボタンを押しCD2に録音用CDを入れます	NO TOC CD-RW CD2 0000:00:00	ディスプレーに「CD2」表示 NO TOC 表示(録音可能なCDの意味)
④ テープボタンを押し選択します	TAPE NO TOC CD-RW	ディスプレーに「TAPE」表示
⑤ ●録音ボタンを押します	II TAPE NO TOC CD-RW REC 001	ディスプレーに「REC」表示 ディスプレーに秒数「00」表示
⑥ CD2再生/一時停止ボタンを押します	► TAPE NO TOC CD-RW REC 001 00:02	ディスプレーの秒数スタート 録音開始
⑦ テープ挿入口にテープを入れます 自動再生	► TAPE NO TOC CD-RW REC 001 1 3:20	スピーカーより 録音中の音楽が流れます
⑧ A面の曲が終りましたら CD2再生/一時停止ボタンを押します	II TAPE NO TOC CD-RW REC 002	A面録音終了 一時的にCDが停止します
⑨ 早送り(取り出し)ボタンでテープを最後まで進めます	II TAPE NO TOC CD-RW REC 002	巻戻し機能が無いので 早送りでB面の頭(最初)にします
⑩ テープ停止ボタンを強く押しテープを取り出します	II TAPE NO TOC CD-RW REC 002	CDが一時停止状態です
⑪ CD2再生/一時停止ボタンを押します	► TAPE NO TOC CD-RW REC 002 39:21	ディスプレーの秒数スタートしたら テープを入れます 再び録音開始
⑫ テープを裏面(B面)または他のテープを入れてください	► TAPE NO TOC CD-RW REC 002 39:22	テープが再生され スピーカーより 録音中の音楽が流れます
⑬ B面の曲が終りましたら CD2■停止ボタンを押します	TAPE NO TOC CD-RW	A面とB面が録音されました まだ完全には録音されていません
⑭ テープ停止(取り出し)ボタン 強く押しテープを取り出します CD2ボタンを押します	CD-RW CD2 NO TOC 002 TR 002 63:20	録音された時間を表示 短い曲を何曲も録音するときは 上記を繰り返してください
⑮ CDを完成させる場合は ファイナライズ作業をおこなってください	CD-RW CD2 NO TOC 002 TR 002 63:20	ファイナライズ(CDの完成) P.30を参照

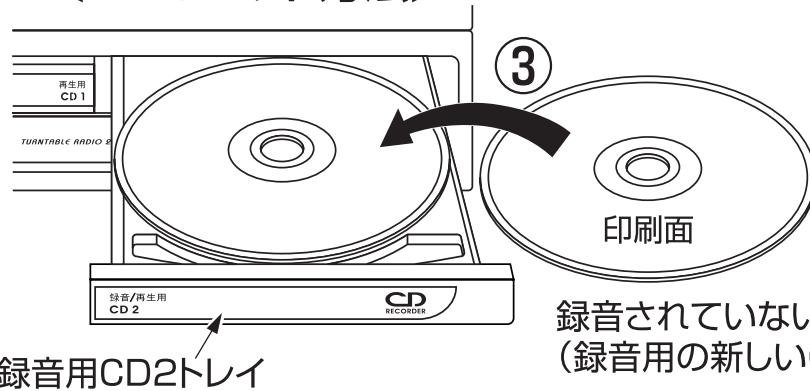
カセットテープからCDへの録音方法

※録音するメディア(CD)は本機の使用に慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

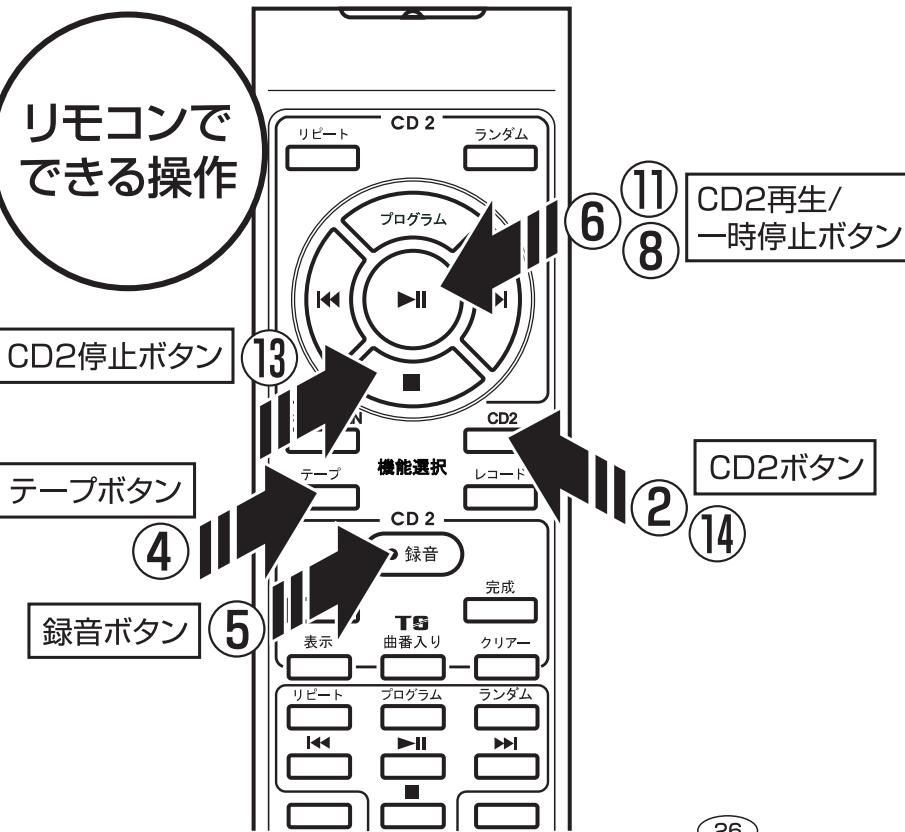
本体操作



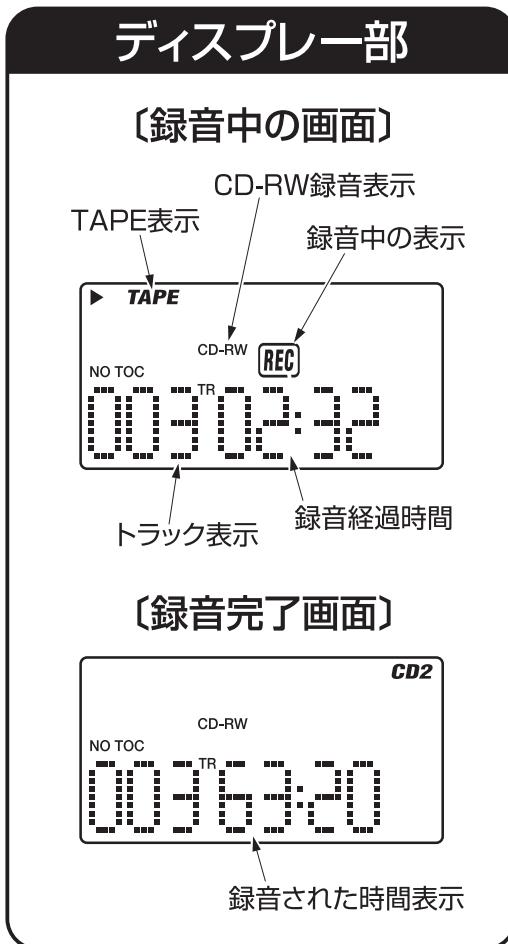
[CDのセット方法]



録音用CD2トレイ



リモコンで
できる操作

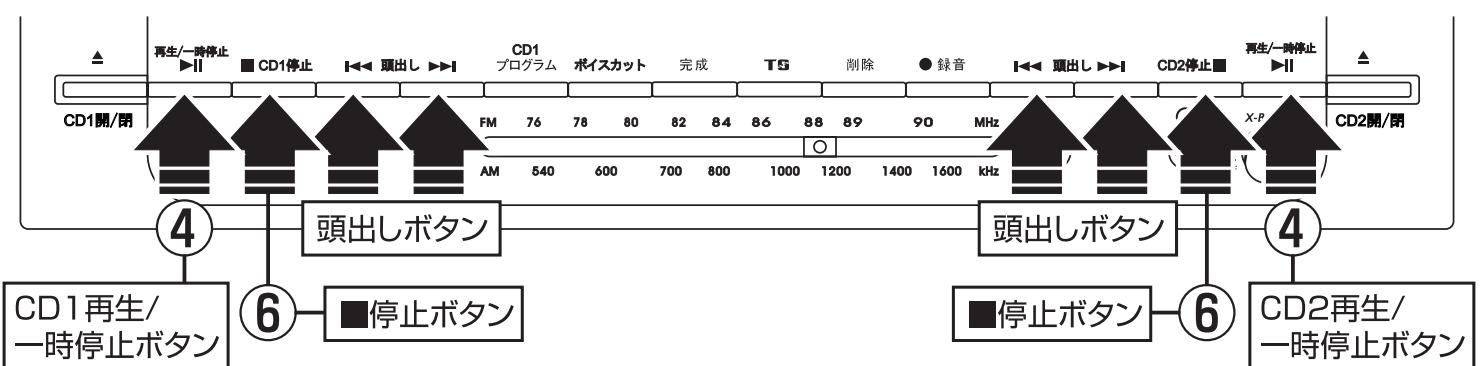


操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
電源スイッチをONにして電源を入れます	PLS SELECT FUNCTION	ラジオ選局ツマミ／音量調整ボタンが「ブルー」に点灯
CD1/AUX INボタンを押し選択します	--- busy	ディスプレーに「busy」表示 「busy」表示が消えるまで(約30秒) 次のボタンを押さないでください
CD1の開/閉ボタンを押しCD1にCDを入れます	CD1/AUX 23	ディスプレーに「CD1/AUX」表示 「曲数」を表示
CD1再生/一時停止ボタンを押します	CD1/AUX 01	音楽の再生が始まります 「曲番」を表示
音量調整ボタンで音量を調整	CD1/AUX 05	「+」「-」ボタンで音量を調整 お好みの音量でお聴きください
音楽の再生をやめるとき■停止ボタンを押します	CD1/AUX 23	ディスプレーに「曲数」を表示
CD1の開/閉ボタンを押しCDを取り出します	OPEN	トレイが開き CDが出てきます

●ここでは、おもに再生用CD1でのCDの再生方法について説明しましたが、再生用CD2でも同じように操作できます。

ノーマル再生

- ①「CD1再生／一時停止」ボタンを押すと1曲目から順に再生が始まります。
- ②再生中に「CD1再生／一時停止」ボタンを押すと一時的に停止します。もう一度押すと再生が再開されます。長押し(2秒以上)すると再生が完全に停止します。
- ③再生中または停止中に「頭出し▶」ボタンを押すと1曲先を再生されます。くり返し押すと、押した数だけ先の曲を再生します。「頭出し◀」ボタンを押すと1曲後を再生されます。くり返し押すと、押した数だけ後に戻り曲を再生します。
- ④再生中に「▶▶」/「◀◀」ボタンを長押しすると、早送り再生／早戻し再生されます。ボタンを離すと、そこから通常再生されます。

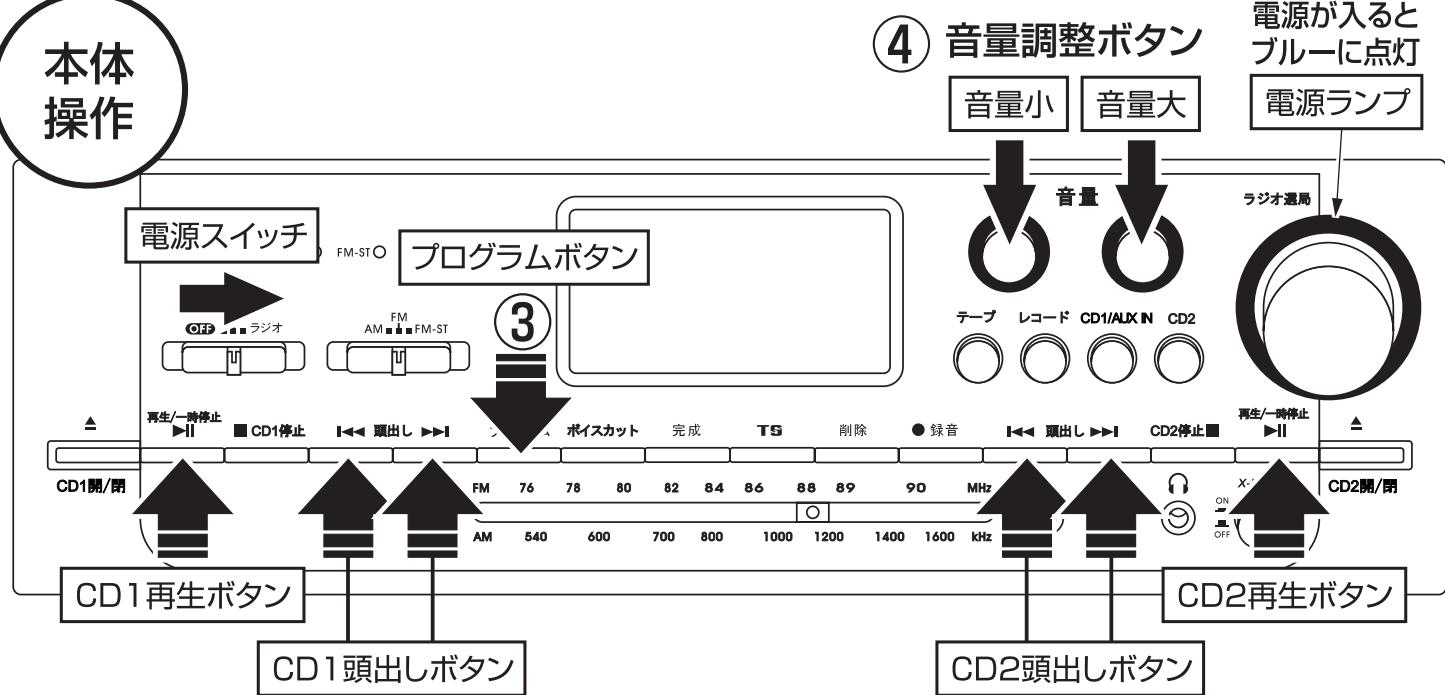


[CD1での操作]

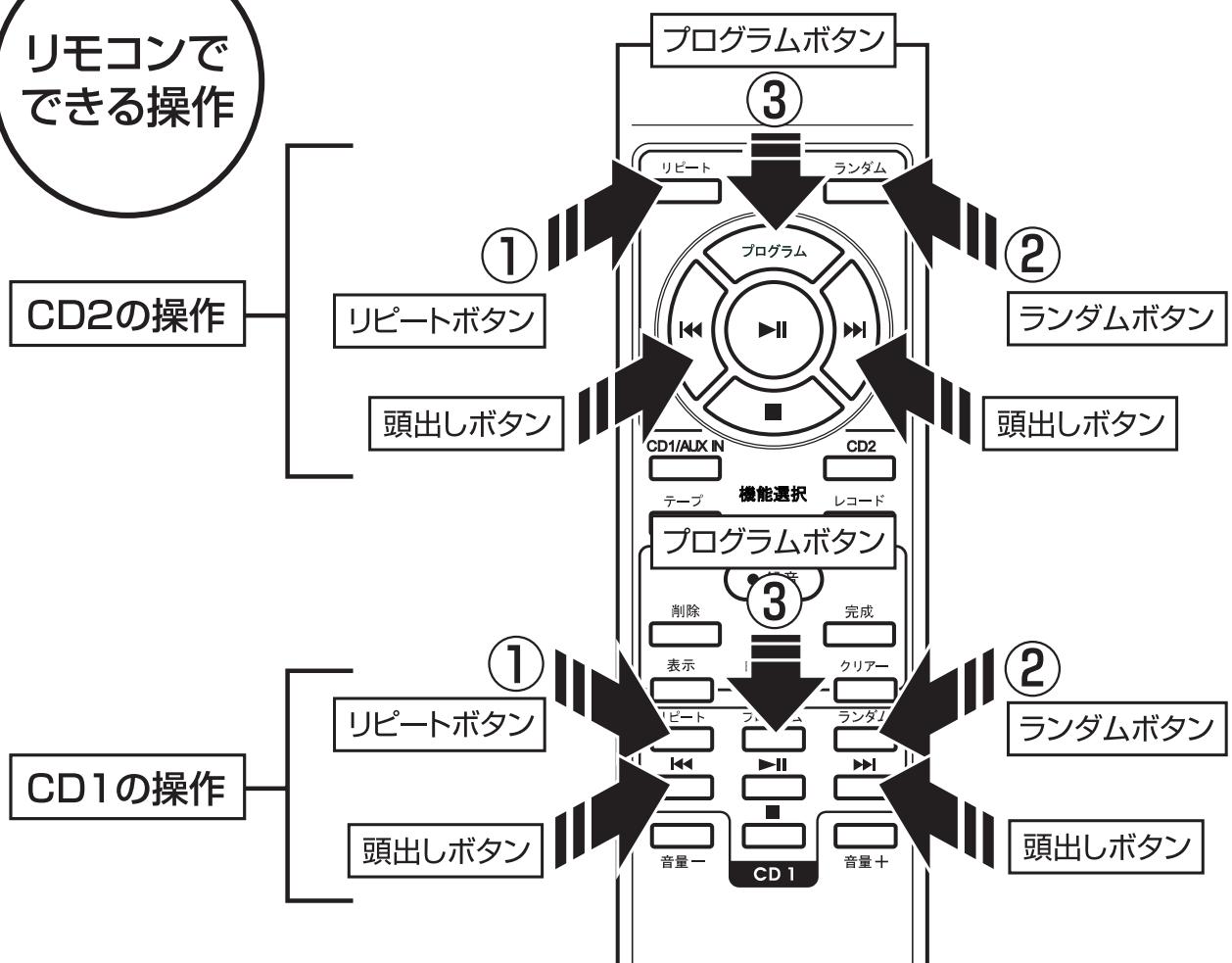
[CD2での操作]

CDプレーヤーの使い方(便利な機能)

本体操作



リモコンでできる操作

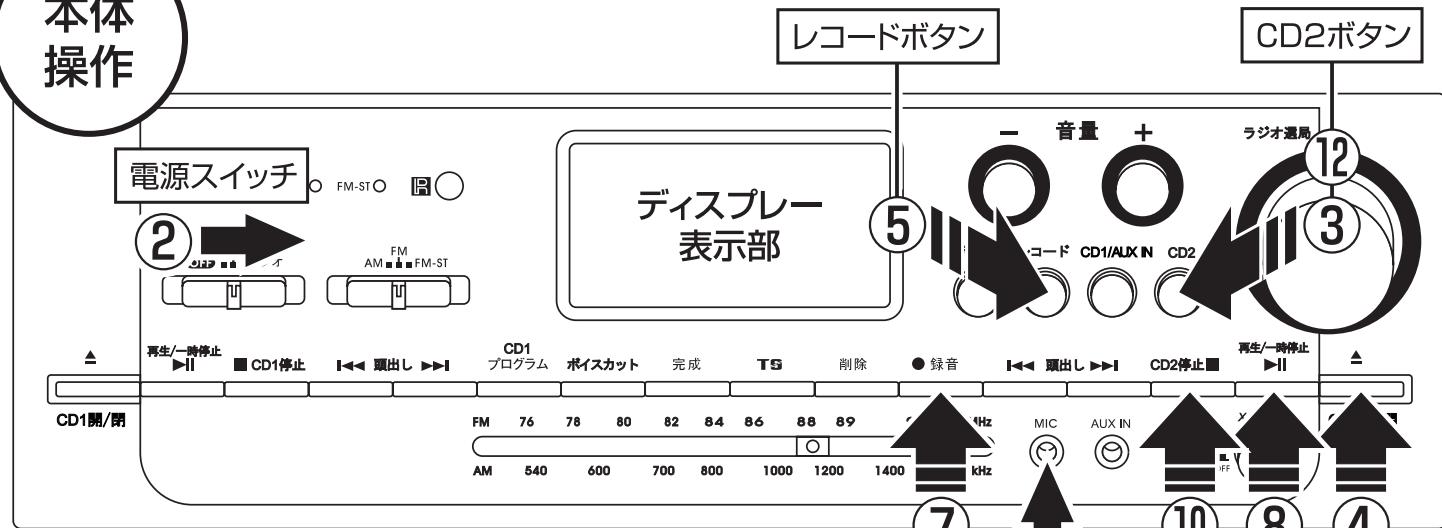


操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
① マイクを「MIC」差し込み口に奥までしっかりと差し込みます		マイクのスイッチは「切」にしておいてください
② 電源スイッチをONにして電源を入れます	PLS SELECT FUNCTION	ラジオ選局ツマミ／音量調整ボタンが「ブルー」に点灯
③ CD2ボタンを押し選択します	--- busy	ディスプレーに「busy」表示 「busy」表示が消えるまで(約30秒)次のボタンを押さないでください
④ CD2の開/閉ボタンを押しCD2に録音用CDを入れます	CD-RW CD2 NO TOC 000 00:00	ディスプレーに「CD2」表示 NO TOC 表示(録音可能なCDの意味)
⑤ レコードボタンを押し選択しターンテーブルにレコードをのせます	PHONO CD-RW NO TOC	ディスプレーに「CD1/AUX」表示 録音されている曲数表示
⑥ マイク切換スイッチを「エコー」に合わせます	PHONO CD-RW NO TOC	歌う準備をします
⑦ ●録音ボタンを押します	PHONO CD-RW REC NO TOC 001 00:02	ディスプレーの秒数スタート 録音開始
⑧ CD2再生/一時停止ボタンを押します	PHONO CD-RW REC NO TOC 001 00:02	スピーカーより レコードの音楽が流れます
⑨ レコードに針をのせます レコードの再生開始	PHONO CD-RW REC NO TOC 001 03:20	レコードの音を聴きながら歌います (エコー音量を調整)
⑩ 歌い終ったら CD2■停止ボタンを押します	PHONO CD-RW NO TOC	仮録音完了
⑪ レコードアームをホルダーに戻します	PHONO CD-RW NO TOC	レコードの「針」には十分気をつけてください
⑫ CD2ボタンを押し選択します	CD-RW CD2 NO TOC 001 04:34	曲数、録音時間を表示
⑬ CD2再生/一時停止ボタンを押します CD2■停止ボタンを押します	CD-RW CD2 NO TOC 001 00:20	仮録音された曲を再生できるか テストに聴いてください
⑭ 続けてミックス録音をする時は ⑥から繰り返してください	CD-RW CD2 NO TOC 001 04:34	曲数、録音時間を表示 まだ完全には録音されていません
⑮ CDを完成させる場合は ファイナライズ作業をおこなってください	CD-RW CD2 NO TOC 01 663:20	ファイナライズ(CDの完成) P.30を参照

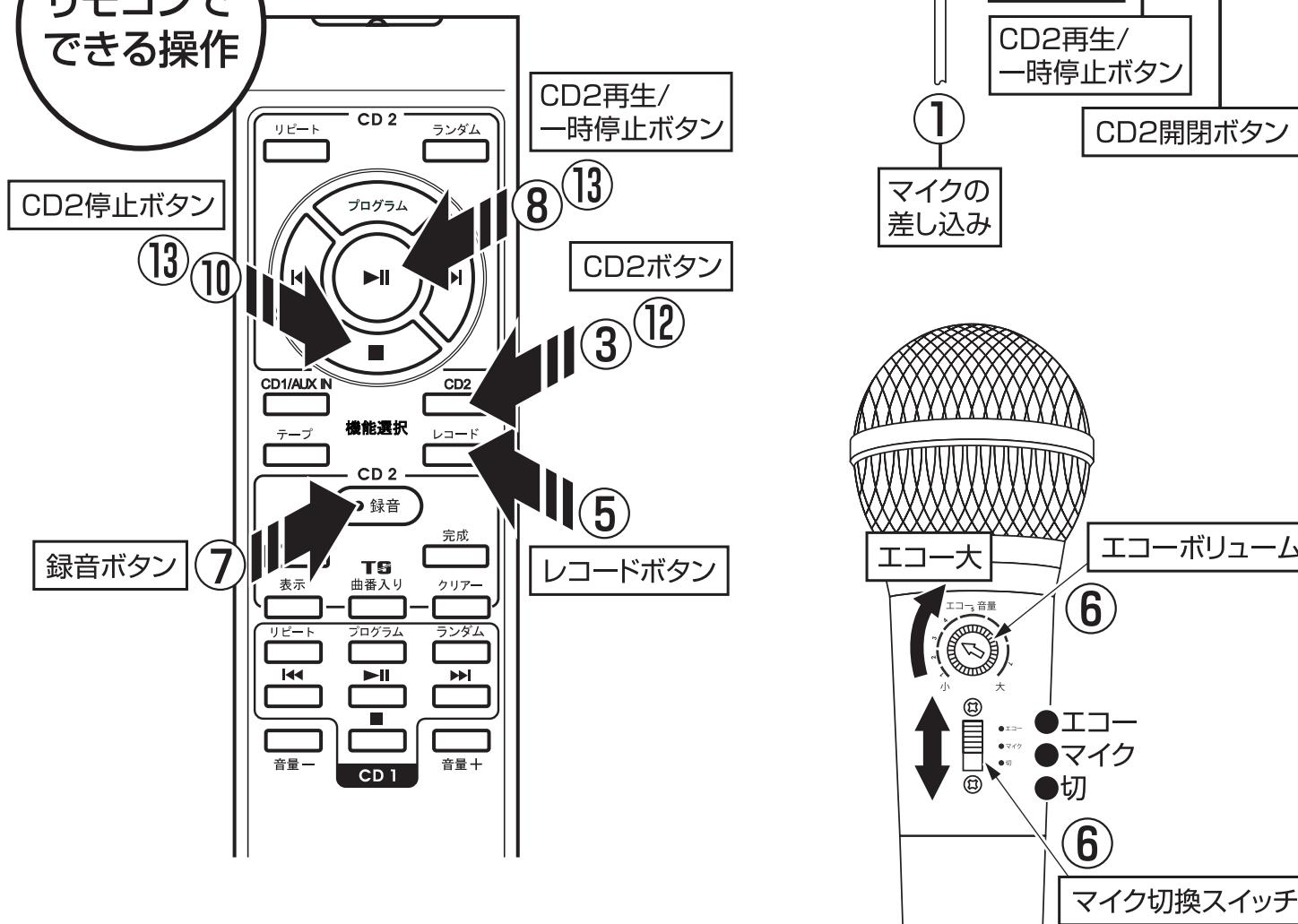
レコードとマイクのミックス音をCDへ録音

※録音するメディア(CD)は本機の使用に慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

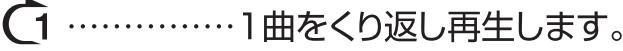
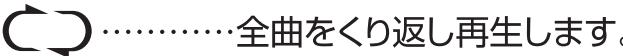
本体 操作



リモコンで できる操作



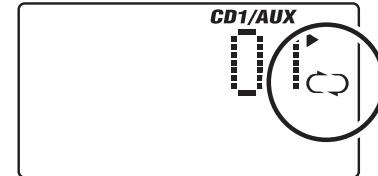
① リピート再生



- ①停止状態または再生中に「リピート」ボタンを押すと右図のディスプレー表示が「全曲繰り返し」とれます。もう一度押すと「1曲繰り返し」になります。

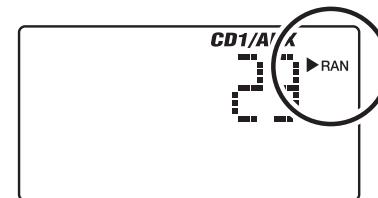
①もう一度「リピート」ボタンを押すと表示が消え、解除されます。

②「再生」ボタンを押すと右図表示の「くり返し」再生が始まります。



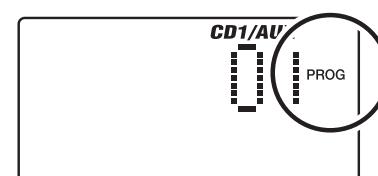
② ランダム再生(リモコンのみでの操作です)

- ①「ランダム」ボタンを押すと右図の丸内がディスプレーに表示されます。
 - ②「RAN」の表示で「再生」ボタンを押すと全曲の曲順がランダムに入れ替わって再生されます。
 - ③「リピート」ボタンを押すと表示が消え、解除されます。
 - ④「停止」ボタン押すとランダム再生が解除されます。

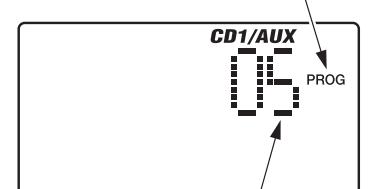


③ プログラム演奏

- ①お好みの曲順に32曲までプログラム再生できます。停止状態でおかないです。
 - ②停止状態で「プログラム」ボタンを押すとディスプレーに「PROG」表示が出ます。
 - ③「頭出し▶▶／◀◀」ボタンを押し曲を選択し、「プログラム」ボタンを押すと登録されます。これをくり返し曲順を登録してください。
 - ④「再生」ボタンを押すと登録した順に再生されます。(PROG文字が点滅)
 - ⑤プログラム再生を終了するには、「停止」ボタンを押し、「PROG」表



プログラム表示



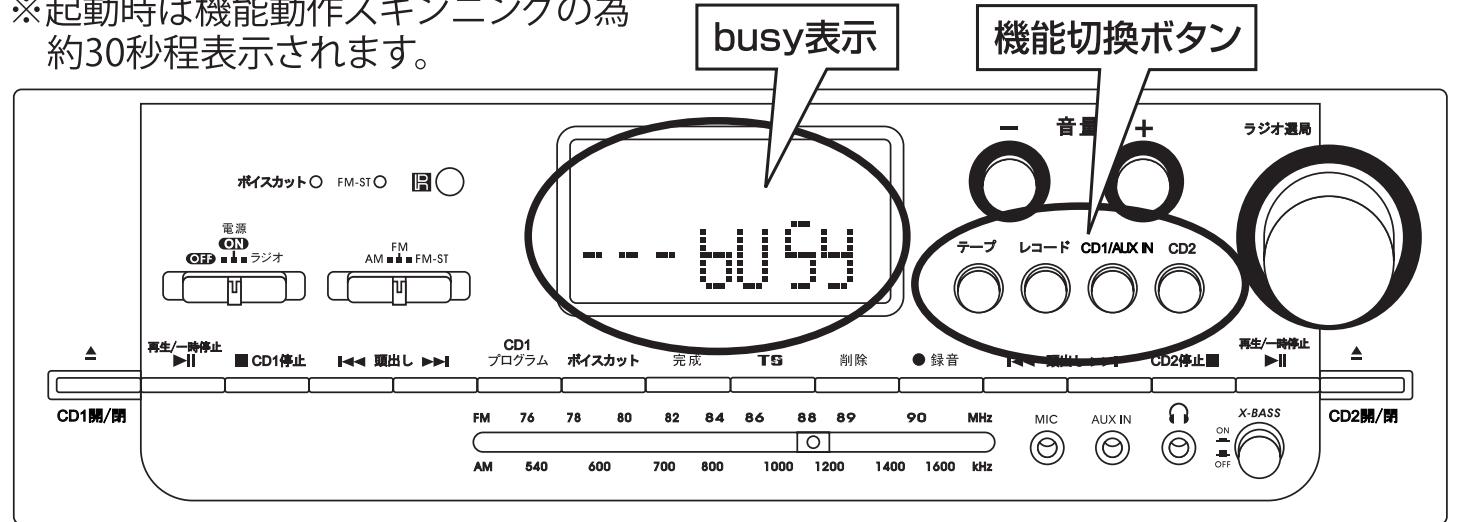
CDに録音されている曲順番号
(これは3曲目表示)

ポイント

再生用CD1での説明でしたが、CD2の再生ではディスプレー表示が異なりますが、再生時の機能は同じです。CD1の操作を参考にして操作してください。（CD2は録音時間のカウンター数字がでます。CDの再生だけの時は基本的には再生用CD1をご利用ください。）

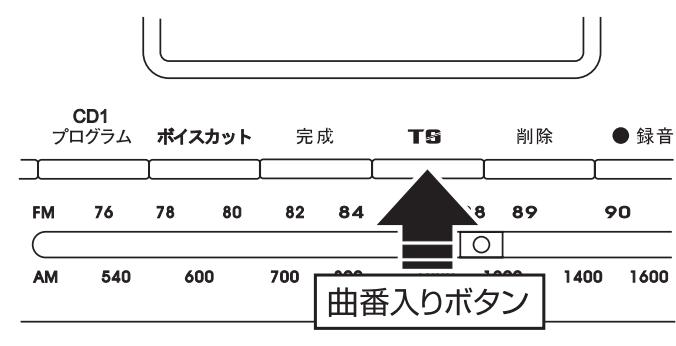
busy表示時の注意事項

※起動時は機能動作スキンニングの為
約30秒程表示されます。

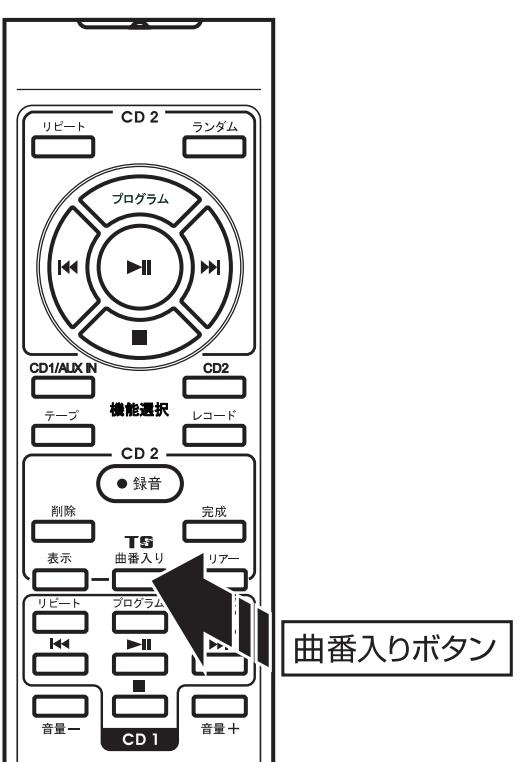


- 電源を入れ、機能切換ボタンを押すと「busy」表示が出ます。「busy」表示の意味は「動作切換中」「処理中」のことです。また、機能切換をした場合も出ます。
- 「busy」表示が出ているときは、他のボタンを押さないでください。ディスプレーの「busy」表示が消え、他の表示になってから次のボタンを押してください。
- 「busy」表示中に他のボタンを何度も押したり、ポンポンと早く押したりすると誤作動をおこし、動作が遅くなったり、「busy」表示が消えなくなったり、ボタンが反応しなくなる場合があります。
- そんなときは電源を一度切り、コンセントを抜いて時間を置いて(5分~10分)から、再びコンセントをさして電源を入れてください。

曲番入りボタン(TS)の使用



- CD録音中に「曲番入りボタン」を押すと曲と曲の間に空きができます。CDを再生するときに曲を特定して聴いたり、プログラム再生、リピート再生、ランダム再生に便利な機能です。
- 曲と曲の間が少ないと次の曲の頭が切れることがありますので、押すタイミングにご注意ください。

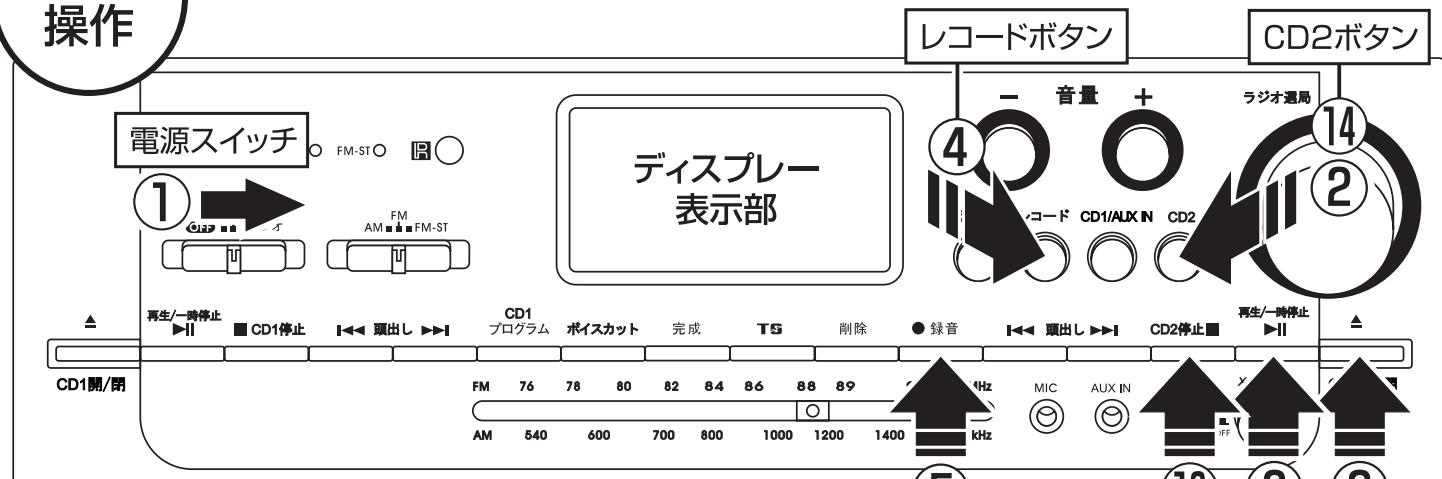


操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
① 電源スイッチをONにして 電源を入れます	PLS SELECT FUNCTION	ラジオ選局ツマミ／音量調整ボタン が「ブルー」に点灯
② CD2ボタンを押し 選択します	--- busy	ディスプレーに「busy」表示 「busy」表示が消えるまで(約30秒) 次のボタンを押さないでください
③ CD2の開/閉ボタンを押し CD2に録音用CDを入れます	CD-RW CD2 NO TOC 000 00:00	ディスプレーに「CD2」表示 NO TOC 表示(録音可能なCDの意味)
④ レコードボタンを押し選択し ターンテーブルにA面を上に レコードをのせます	PHONO NO TOC	ディスプレーに「CD1/AUX」表示 録音されている曲数表示
⑤ ●録音ボタンを押します	II PHONO NO TOC CD-RW REC 001	ディスプレーに「REC」表示 ディスプレーに秒数「00」表示
⑥ CD2再生/ 一時停止ボタンを押します	▶ PHONO NO TOC CD-RW REC 001 00:02	ディスプレーの秒数スタート 録音開始
⑦ レコードに針をのせます レコードの再生開始	▶ PHONO NO TOC CD-RW REC 001 1 3:20	スピーカーより 録音中の音楽が流れます
⑧ A面の曲が終りましたら CD2再生/ 一時停止ボタンを押します	II PHONO NO TOC CD-RW REC 002	A面録音終了 一時的にCDが停止します
⑨ レコードアームを ホルダーに戻します	II PHONO NO TOC CD-RW REC 002	レコードの「針」には 十分気をつけてください
⑩ レコードを裏面(B面)または 別のレコード盤に交換します	II PHONO CD2 NO TOC CD-RW REC 002	CDが一時停止状態です
⑪ CD2再生/ 一時停止ボタンを押します	▶ PHONO NO TOC CD-RW REC 002 3:21	ディスプレーの秒数スタート 再び録音開始
⑫ 再びレコードに針をのせます レコードB面の再生開始	▶ PHONO NO TOC CD-RW REC 002 3:22	スピーカーより 録音中の音楽が流れます
⑬ B面の曲が終りましたら CD2■停止ボタンを押します	PHONO NO TOC CD-RW 002	A面とB面が録音されました まだ完全には録音されていません
⑭ レコードアームをホルダーに 戻します CD2ボタンを押します	CD-RW CD2 NO TOC 002 6:20	録音された時間を表示 短い曲(ドーナツ盤)の録音などは 上記を繰り返してください
⑮ CDを完成させる場合は ファイナライズ作業を おこなってください	CD-RW CD2 NO TOC 002 6:20	ファイナライズ(CDの完成) P.30を参照

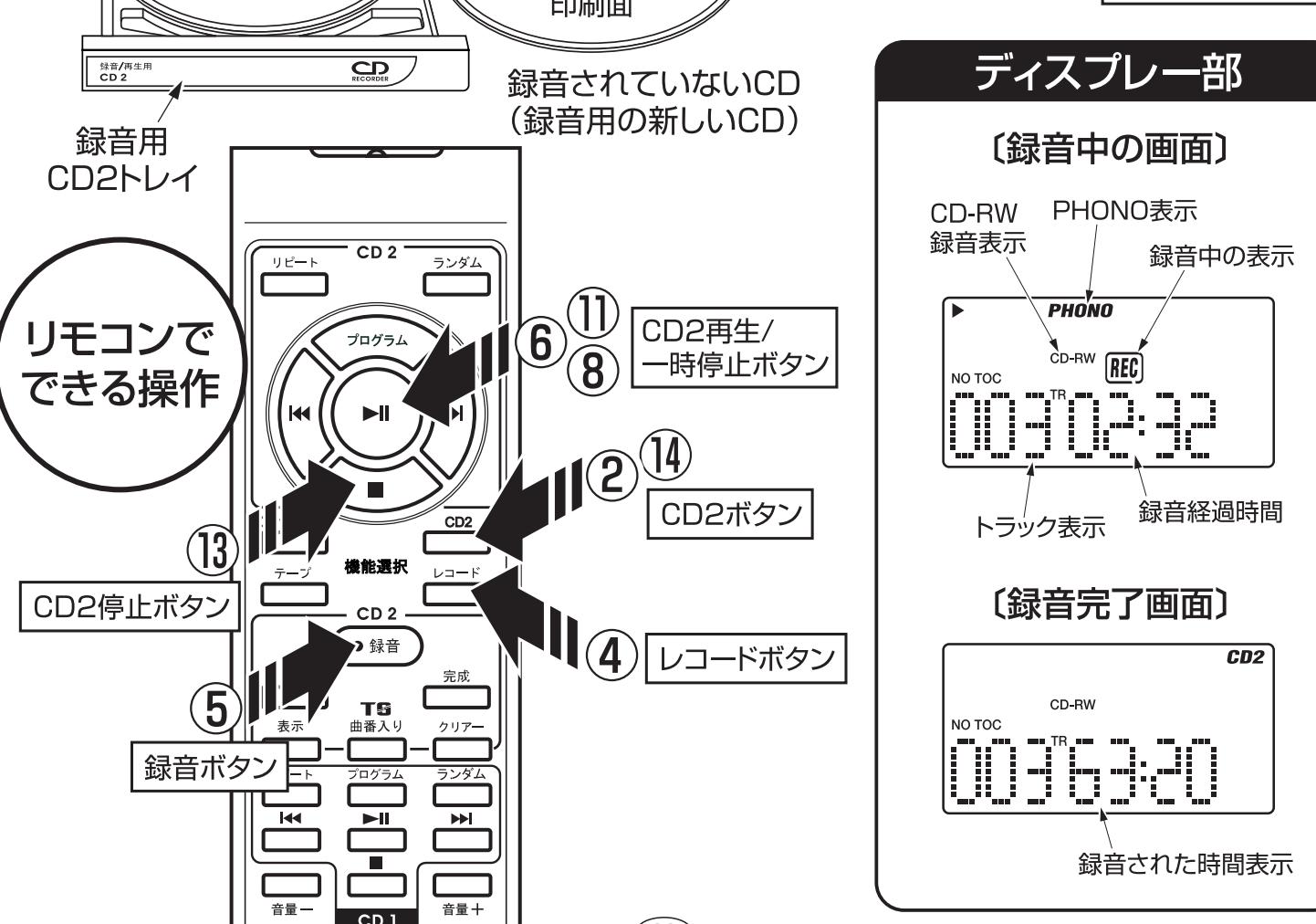
レコードからCDへの録音方法

※録音するメディア(CD)は本機の使用に慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

本体 操作



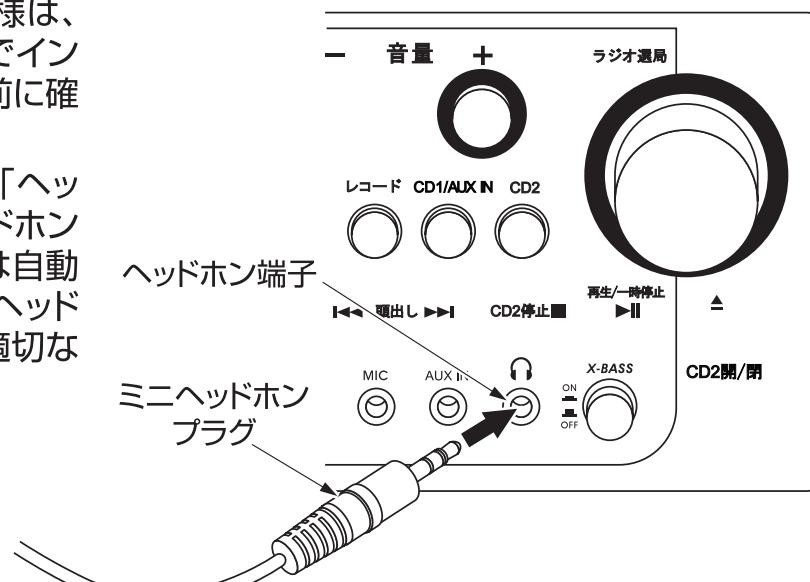
〔CDのセット方法〕



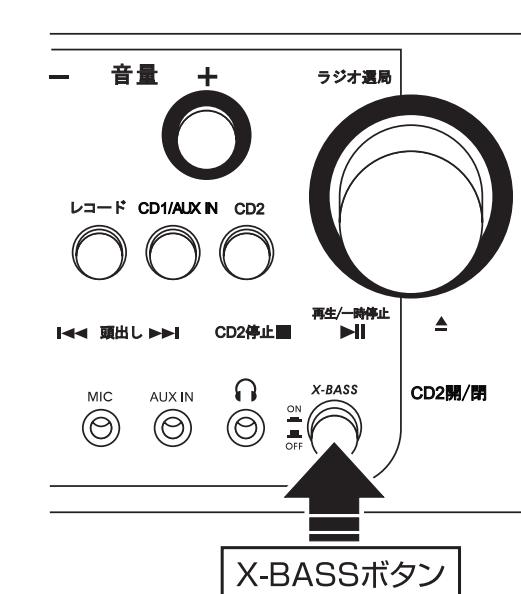
ヘッドホンの使用方法

- 本機で使用できるヘッドホンの仕様は、
プラグがミニタイプ(Φ3.5mm)でイン
ピーダンス8~32Ωです。ご利用前に確
認してください。

- ヘッドホンのプラグを本機前面の「ヘッドホン端子」に差し込みます。ヘッドホンを使用の時は、左右のスピーカーは自動的に聞こえない状態になります。ヘッドホンの音量はボリュームツマミで適切な大きさに調整してください。



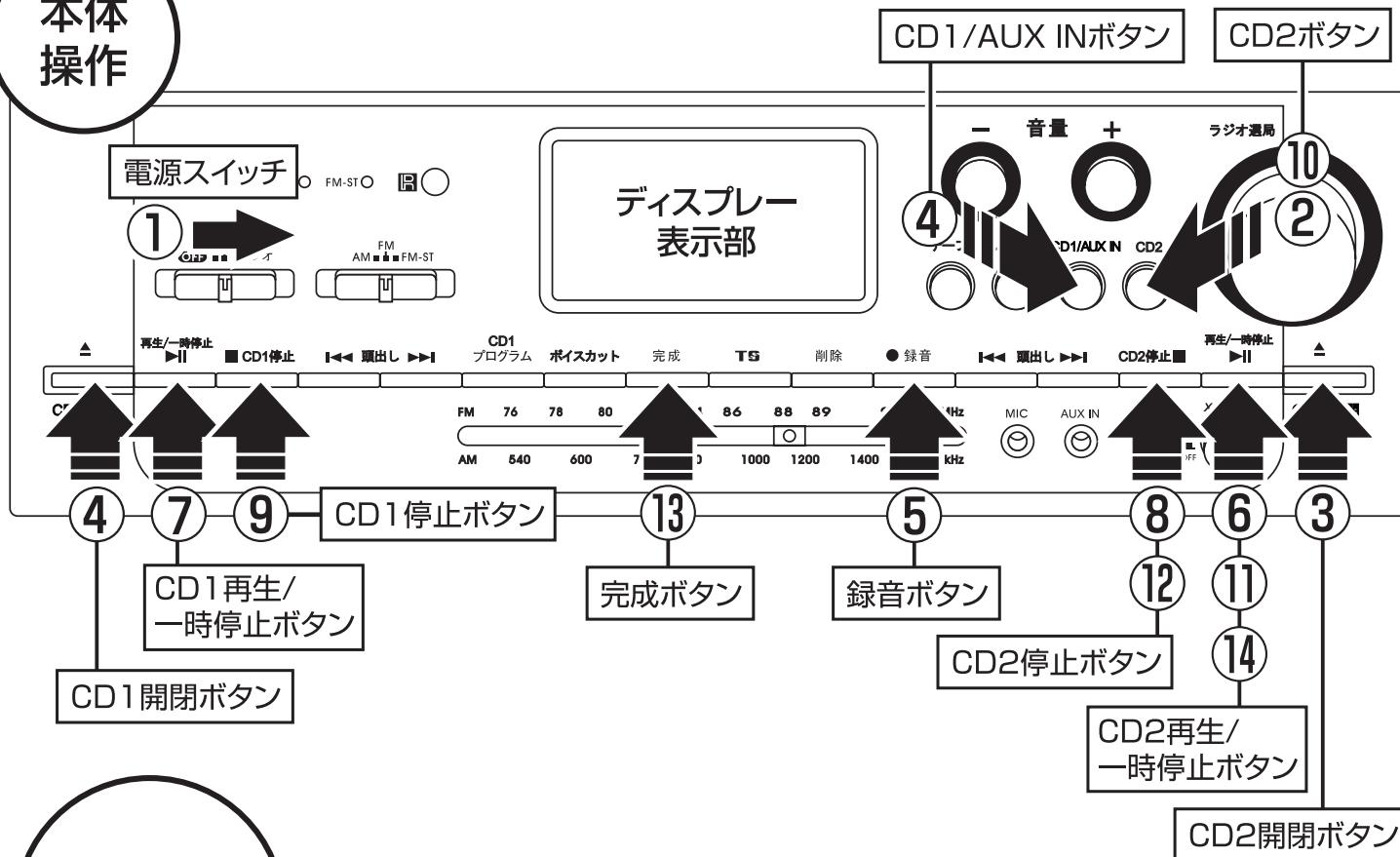
X-BASSボタンについて



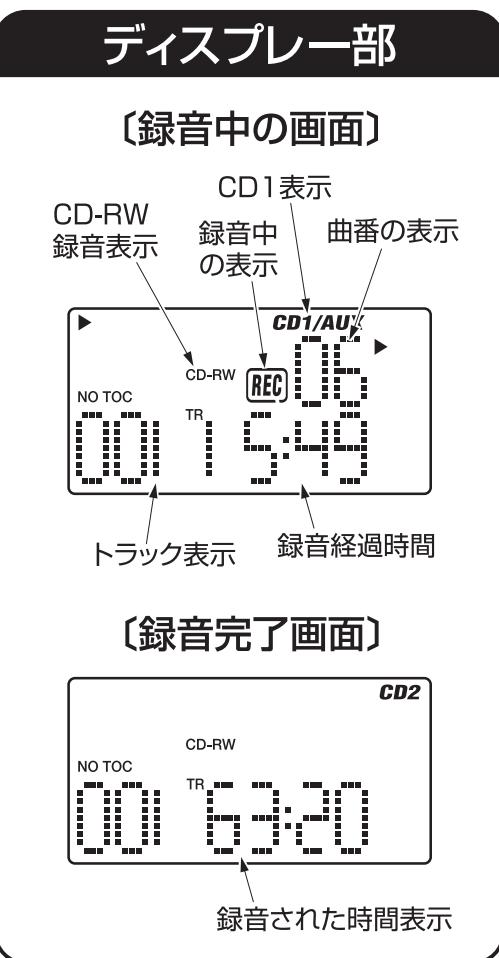
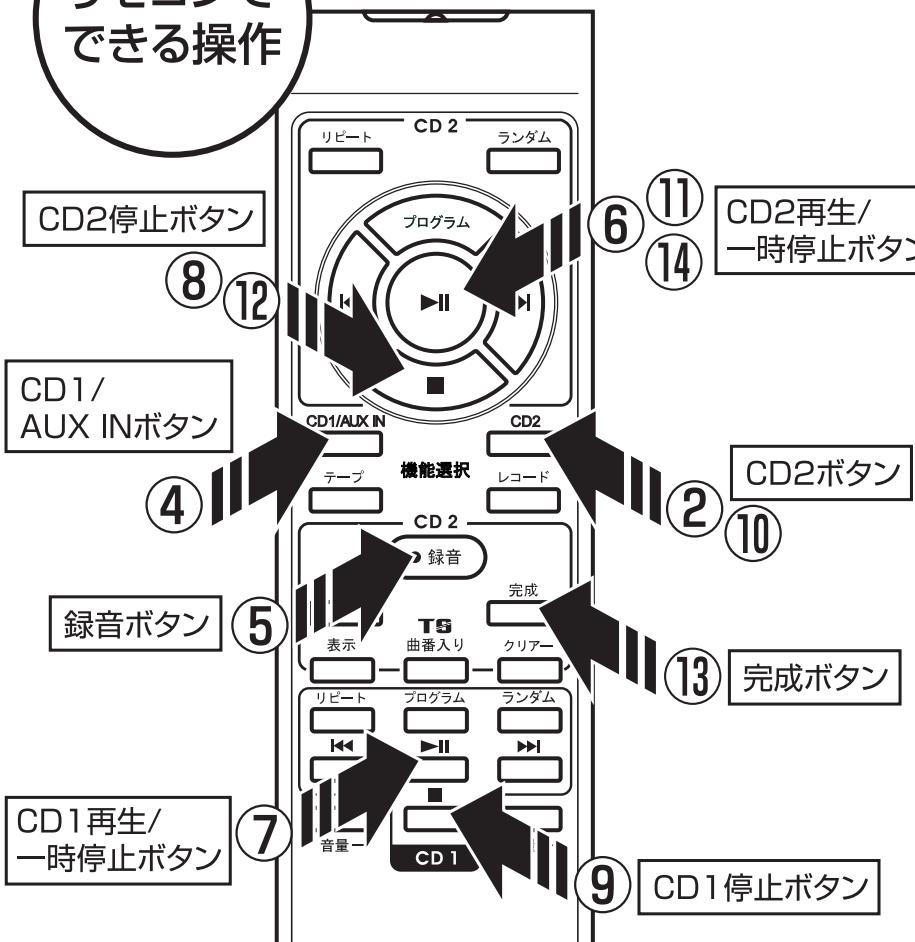
- 音楽再生中にこの「X-BASS」ボタンを押すと低音が強調されて再生されます。好みにより「X-BASS」ボタンをご利用ください。
 - もう一度ボタンを押すと解除されます。

CDからCDへの録音方法

本体操作



リモコンで
できる操作

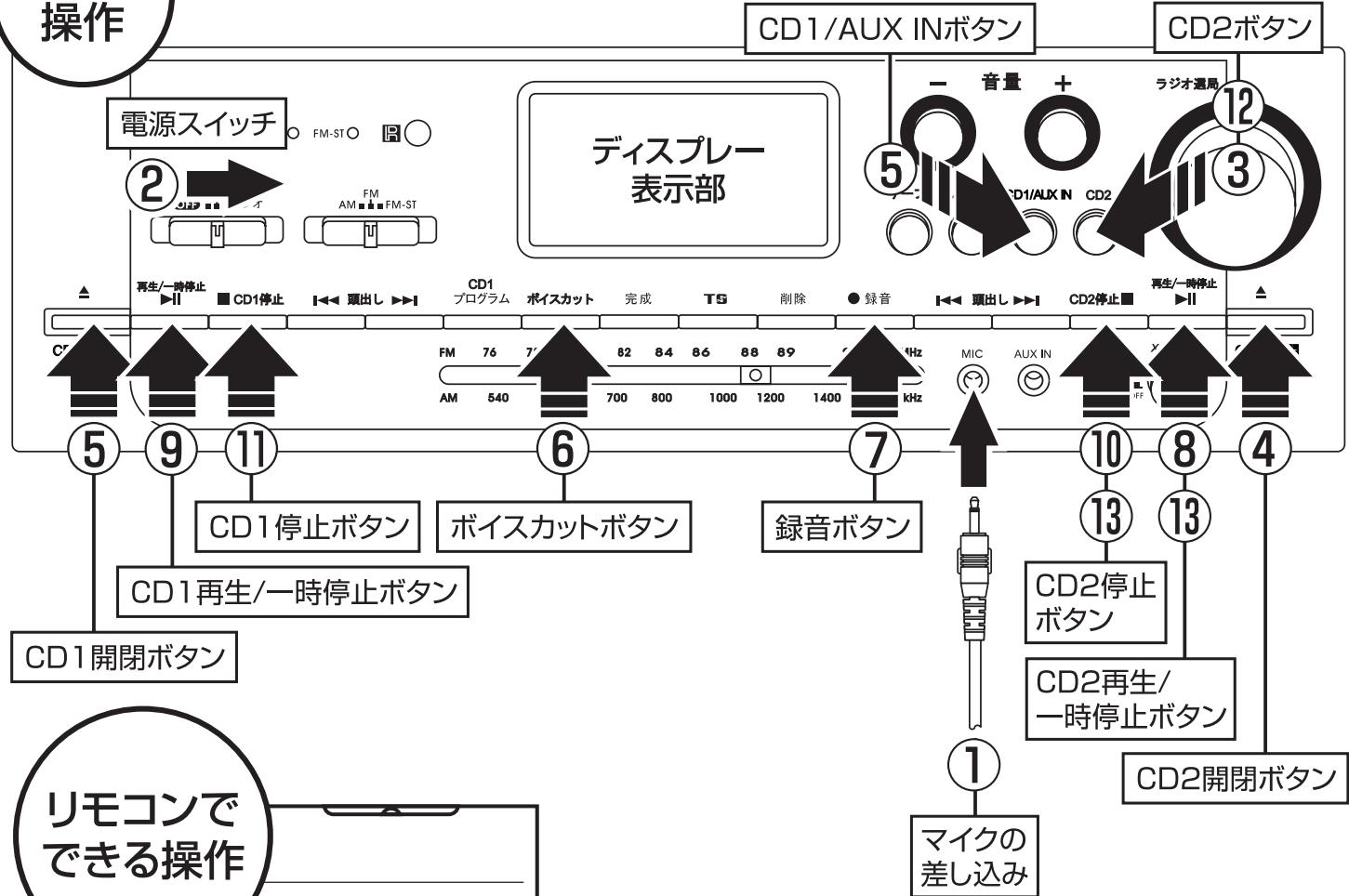


操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
① マイクを「MIC」差し込み口に奥までしっかりと差し込みます		マイクのスイッチは「切」にしておいてください
② 電源スイッチをONにして電源を入れます	PLS SELECT FUNCTION	ラジオ選局ツマミ／音量調整ボタンが「ブルー」に点灯
③ CD2ボタンを押し選択します	--- busy	ディスプレーに「busy」表示 「busy」表示が消えるまで(約30秒) 次のボタンを押さないでください
④ CD2の開/閉ボタンを押し CD2に録音用CDを入れます	CD-RW CD2 000 00:00	ディスプレーに「CD2」表示 NO TOC 表示(録音可能なCDの意味)
⑤ CD1/AUX INボタンを押し選択 CD1の開/閉ボタンを押し CD1に音楽CDを入れます	CD1/AUX CD-RW 22	ディスプレーに「CD1/AUX」表示 録音されている曲数表示
⑥ ボイスカットボタンを押し マイクスイッチを「エコー」に	CD1/AUX CD-RW 22	歌う準備をします
⑦ ●録音ボタンを押します	CD1/AUX CD-RW REC 001 00:02	ディスプレーの秒数スタート 録音開始
⑧ CD2再生/ 一時停止ボタンを押します	CD1/AUX CD-RW REC 001 00:02	スピーカーより CD1の音楽が流れます
⑨ すぐにCD1再生/一時停止 ボタンを押し音楽スタート	CD1/AUX CD-RW REC 001 00:02	CD1の音楽をカラオケにして 歌います(エコー音量を調整)
⑩ 歌い終ったら CD2■停止ボタンを押します	CD1/AUX CD-RW 01	曲数を表示
⑪ CD1 ■停止ボタンを押します	CD1/AUX CD-RW 22	
⑫ CD2ボタンを押し 選択します	CD2 CD-RW 001 04:34	曲数、録音時間を表示
⑬ CD2再生/一時停止ボタン を押します CD2■停止ボタンを押します	CD2 CD-RW 001 0 20	仮録音された曲を再生できるか テストに聴いてください
⑭ 続けてカラオケ録音をする時は ⑥から繰り返してください	CD2 CD-RW 001 04:34	曲数、録音時間を表示 まだ完全には録音されていません
⑮ CDを完成させる場合は ファイナライズ作業を おこなってください	CD2 CD-RW 01 663:20	ファイナライズ(CDの完成) P.30を参照

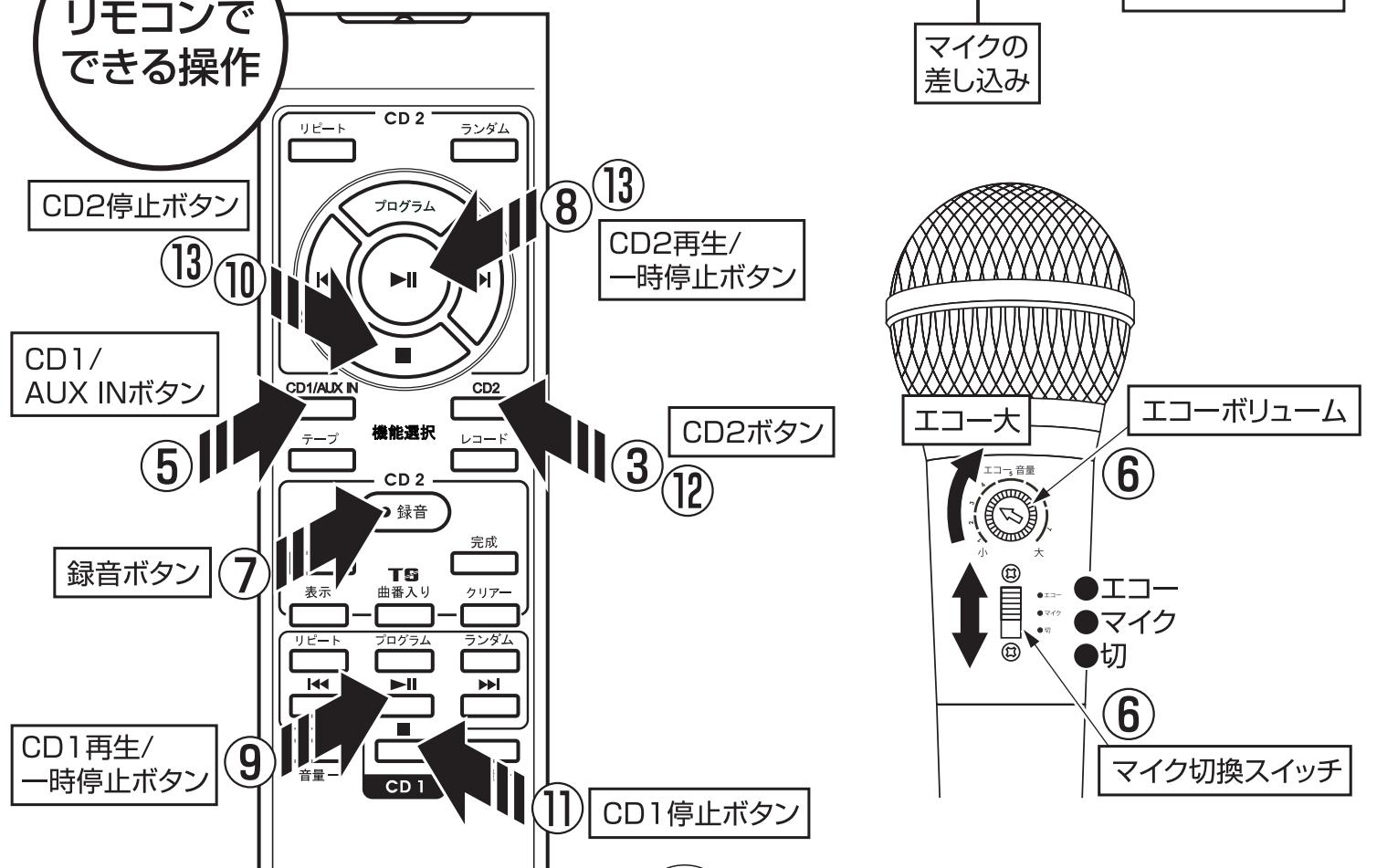
CDでのカラオケをCDへ録音

※録音するメディア(CD)は本機の使用に慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

本体操作



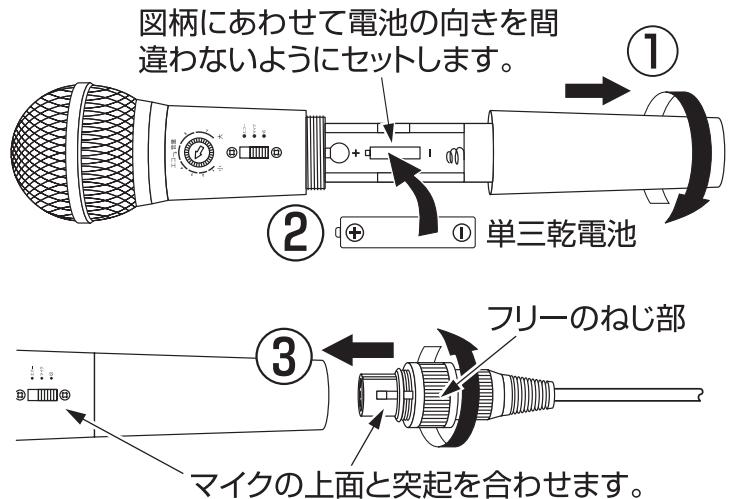
リモコンでできる操作



操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
① 電源スイッチをONにして電源を入れます	PLS SELECT FUNCTION	ラジオ選局ツマミ／音量調整ボタンが「ブルー」に点灯
② CD2ボタンを押し選択します	--- busy	ディスプレーに「busy」表示 「busy」表示が消えるまで(約30秒) 次のボタンを押さないでください
③ CD2の開/閉ボタンを押しCD2に録音用CDを入れます	NO TOC CD2 000 00:00	ディスプレーに「CD2」表示 NO TOC 表示(録音可能なCDの意味)
④ CD1/AUX INボタンを押し選択 CD1の開/閉ボタンを押し CD1に録音するCDを入れます	NO TOC CD-RW 22	ディスプレーに「CD1/AUX」表示 録音されている曲数表示
⑤ ●録音ボタンを押します	CD1/AUX NO TOC REC 00:00	ディスプレーに「REC」表示 ディスプレーに秒数「00」表示
⑥ CD2再生/一時停止ボタンを押します	CD1/AUX NO TOC REC 00:00:22	ディスプレーの秒数スタート 録音開始
⑦ 秒数が動き出したら CD1再生/一時停止ボタンを押します	CD1/AUX NO TOC REC 00:00:48	スピーカーより 録音中の音楽が流れます
⑧ CD2 ■停止ボタンを押します	CD1/AUX NO TOC 02	録音終了 CDが停止します
⑨ CD1 ■停止ボタンを押します	CD1/AUX NO TOC 22	曲数が表示
⑩ CD2ボタンを押し選択します	CD2 NO TOC 00: 63:20	録音された時間が表示 まだ完全には録音されていません
⑪ CD2再生/一時停止ボタンを押します	CD2 NO TOC 00: 04:34	仮録音された曲を再生できるか テストに聴いてください
⑫ CD2 ■停止ボタンを押します	CD2 NO TOC 00: 63:20	再生が確認できましたら ファイナライズ処理をおこないます
⑬ 完成ボタンを押します	FIN-d	ディスプレーに 「FIN-d」表示
⑭ CD2再生/一時停止ボタンを押します	--- busy	ファイナライズ(完成)作業中 2~3分かかります
⑮ 自動的にトレイが開きます	OPEN	CD完成です

カラオケマイクの使い方

●電池の入れ方(交換方法)



①マイクの下の黒い部分を回転させ、抜き取ると電池室が現れます。

②電池(単三乾電池)の向きを間違えないように入れてください。マイクはエコー機能が付いていますので、電池を入れないと使えません。電池を入れたらカバーをもとのようねじ込んでください。

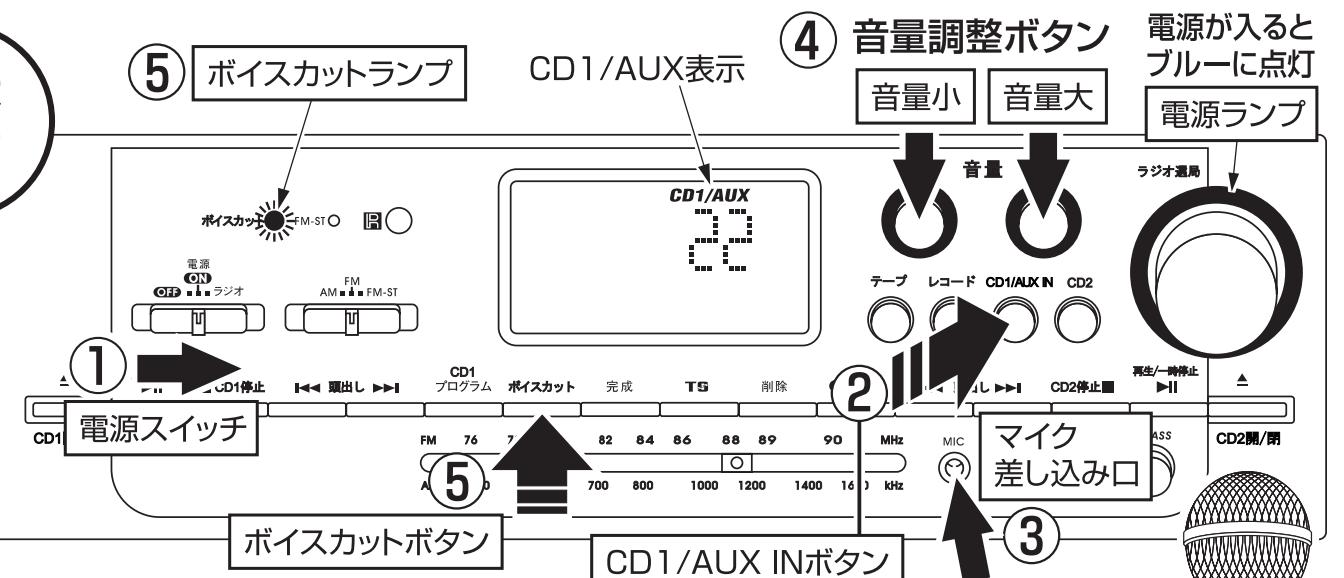
③長時間使用されない場合は、電池を必ず外しておいてください。

●マイクケーブルの接続

③マイクの上面とケーブルの突起を合わせ差し込みます。フリーのねじ部を回転させ、しっかりとねじ込んでください。

*マイクを使用しない時はマイクスイッチを必ず「切」にしてください。マイクスイッチがマイク/エコーの状態になっていますと、マイクを使用していない時でも電池が消耗してマイクが使用できなくなる場合があります。

本体操作

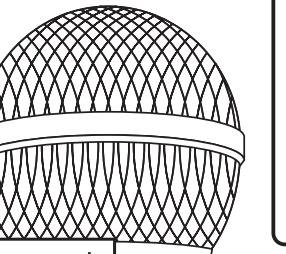
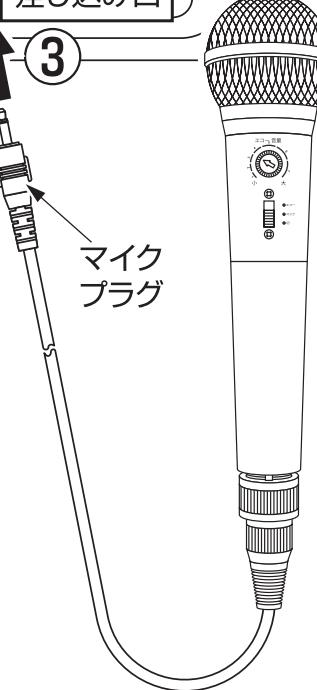


①前面パネルの「電源」スイッチをON側にスライドさせ電源スイッチを入れます。ラジオ選局ツマミ／音量調整ボタンが「ブルー」に点灯します。

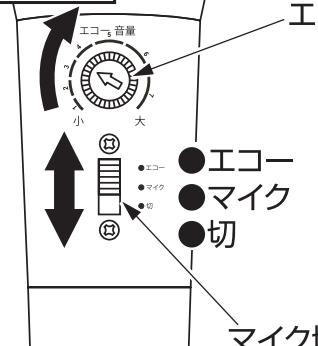
②「CD1/AUX IN」ボタンを押して選択します。ディスプレーに「CD1/AUX」が表示されます。

③マイクプラグを本体の「MIC」ジャックに差し込んでください。プラグを差し込む時はマイクのスライドスイッチを「切」の状態にしてからおこなってください。音量が大きい時やスピーカーにマイクを向けていると「キーン」と鳴るハウリングを起すことがあります。

④音量は本体の裏側にある「マイクボリューム」と本体前面の「音量調整ボタン」を押して、調整してください。「+」側を押すと大きくなり、「-」側を押すと小さくなりますので好みの音量でお使いください。



エコー大

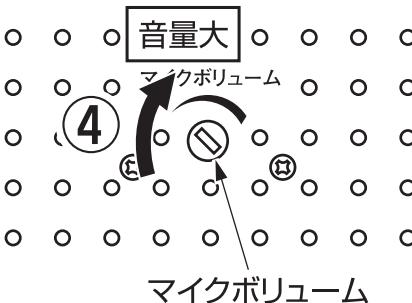


*マイクを使用する頻度が多い場合は、こまめに新しい電池と交換してください。マイクが使用できなくなったら新しい電池と交換してください。

エコーボリューム

- マイク切換スイッチのエコーの位置でエコーのかかり具合を「エコーボリューム」で調整してください。
- マイクプラグの抜き差しは、必ず「切」の位置でおこなってください。

マイク切換スイッチ



- カラオケでCDの伴奏とマイクの音量のバランスは、本体の裏側にある「マイクボリューム」で調整してください。

CDのボイスカット使用法

CDの歌の部分をカット、カラオケになります。

操 作 方 法	ディスプレー表示	詳 細 説 明
① 電源スイッチをONにして電源を入れます	PLS SELECT FUNCTION	ラジオ選局ツマミ／音量調整ボタンが「ブルー」に点灯
② CD1/AUX INボタンを押し選択します	--- busy	ディスプレーに「busy」表示 「busy」表示が消えるまで(約30秒) 次のボタンを押さないでください
③ CD1の開/閉ボタンを押しCD1にCDを入れます	CD1/AUX 22	ディスプレーに「CD1/AUX」表示 「曲数」を表示
④ CD1再生/一時停止ボタンを押します	CD1/AUX 01▶	音楽の再生が始まります
⑤ ボイスカットボタンを押します	CD1/AUX 01▶	歌の部分が消え伴奏だけが残ります 「ボイスカットランプ」点灯
⑥ マイクを差し込んでカラオケができます	CD1/AUX 01▶	カラオケを楽しんでください

注 意

- 音楽CDの録音状態によってはボイスカットにならない場合があります。声が少し小さくなる程度の場合や、コーラス音楽などでほとんど消えない場合もあります。
- 完全に消えないCDでカラオケ録音した場合、歌手の歌が残る場合があります。